



業績目録(関田康慶)

著者	東北大学史料館
雑誌名	東北大学史料館
号	1164
発行年	2012-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/62884

関田康慶教授業績目録

平成 24 年 3 月
東北大学史料館
(著作目録第 1164 号)



関 田 康 慶 教 授 略 歴

生年月日	昭和22年 4 月26日
本 籍 地	高知県
職 名	教授
所 属	東北大学大学院経済学研究科 医療福祉講座 医療福祉システム分野

最終学歴

昭和46年 3 月	小樽商科大学管理科学科卒業
昭和48年 3 月	大阪大学大学院経済学研究科経営学専攻修士課程修了
昭和50年 3 月	大阪大学大学院経済学研究科経営学専攻博士課程単位取得退学

職 歴

昭和50年 4 月	大阪大学経済学部助手に採用
昭和54年10月	東北大学医学部助手に転任
平成 9 年 4 月	東北大学経済学部教授に昇任
平成11年 1 月	東北大学副総長（学務等担当）特別補佐（～平成12年 3 月）
平成11年 4 月	東北大学大学院経済学研究科教授に配置換（現在に至る）
平成13年 4 月	東北大学評議員（～平成15年 3 月）

学 位

昭和48年 3 月	経済学修士（大阪大学）
昭和58年 3 月	医学博士（東北大学）

受賞

昭和60年10月

AUPHA (Association of University Programs in Health Administration) Prize 受賞

平成13年5月

日本病院会功労賞

学会等における活動（役職等）

- 日本医療病院管理学会（2008年以前：日本病院管理学会）
 - 日本医療病院管理学会・評議員（1993年4月～現在）
 - 日本医療病院管理学会理事（企画担当）（1999年4月～2009年3月）
 - 日本医療病院管理学会教育研修専門委員会委員長（1992年～1994年）
 - 日本医療病院管理学会パラタイム研究会代表（1992年～1995年）
 - 将来構想2001年委員会委員長
- 日本医療情報学会
 - 日本医療情報学会評議員（1990年4月～1996年3月，2000年4月～2011年3月）
 - 日本医療情報学会誌編集委員（1985年～，1990年4月～1996年3月，
2000年4月～2011年3月）
 - 第10回医療情報学連合大会事務局長
- 日本計画行政学会
 - 日本計画行政学会理事（1995年4月～2011年3月）
 - 日本計画行政学会東北支部 副支部長（1995年4月～現在）
 - 日本計画行政学会会員理事（現在東北支部副支部長）（1991年10月～）
 - 日本計画行政学会介護保険運用評価部会長（1995年4月～2010年3月）
 - 日本計画行政学会東北支部介護保険部会長（2001年4月～）
- 日本健康科学学会
 - 日本健康科学学会 評議員（2001年～年度～2009年3月）
 - 日本健康科学学会 常任理事（企画担当）（2004年4月～2009年3月）
 - 日本健康科学学会第22回学術大会長（2006年10月）
 - 日本健康科学学会学会誌 編集委員（1999年4月～2009年3月）
- 日本介護経営学会
 - 日本介護経営学会理事（2005年4月～現在）
- 日本医療マネジメント学会
 - 日本医療マネジメント学会 評議員（1998年度～現在）
 - 日本医療マネジメント学会 東北支部理事（1998年6月～現在）
 - 日本医療マネジメント学会 宮城県理事（1998年6月～現在）
- 日本ケアマネジメント学会
 - 日本ケアマネジメント学会 評議員（2001年7月～現在）
 - 日本ケアマネジメント学会 理事（2010年度～）
- 日本オペレーションズ・リサーチ学会
 - 日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部幹事（1976年度～1979年度）

日本オペレーションズ・リサーチ学会東北支部幹事（1979年10月～現在）

○日本公衆衛生学会

日本公衆衛生学会評議員（2008年4月～2011年3月）

日本公衆衛生学会誌編集委員会・査読委員（2005年～2010年3月）

日本公衆衛生学会認定専門家（2010年4月～2016年3月）

○日本行動計量学会

日本行動計量学会運営委員会委員（1979年～1983年）

○日本地域福祉学会

日本地域福祉学会宮城県支部 理事（2000年4月～2004年3月）

○日本グループ診療研究会

日本グループ診療研究会幹事（1993年4月～2011年3月）

○その他

・医療学研究会 代表（1993年4月～2005年3月）

・介護保険研究会 代表（2000年4月～2006年3月）

・福祉経営研究会、新福祉経営研究会 代表（2001年1月～現在）

・政策マネジメント研究会 代表（2003年4月～2007年3月）

・リスクマネジメント研究会 代表（2001年～現在）

・Asian Journal of HUMAN SERVICES 編集委員（2011年9月～現在）

社会における活動

・日本病院会 統計情報委員会委員（1985年4月～2007年3月）

・日本病院会統計情報委員会・ワーキング委員会委員長（1990年4月～2008年3月）

・日本病院会中小病院委員会委員（1992年4月～1996年3月）

・栗駒国保病院経営健全化委員長（1993年～1995年）

・医療病院管理研究協議会副会長（1994年4月～現在）

・リハビリテーションヘルスケアシステムプロジェクト（宮城県）

ワーキング委員会委員長（1993年～1995年）

・要援護老人地域ケアシステムプロジェクト（宮城県）

ワーキング委員会委員長（1994年～1996年）

・宮城コミュニティ・ケア研究会幹事長（1994年7月～1996年3月）

・保健・医療・福祉総合情報システムプロジェクト（宮城県）

ワーキング委員会委員長（1994年～1996年）

・宮城県田尻町保健・医療・福祉計画 SKIP 構想委員会委員（1988年～1990年）

・田尻町スキップセンター運営委員会委員長（1995年度～2006年3月）

・秋田県天王町情報システム化委員会委員・ワーキング委員会委員長（1996年～1998年）

・日本医療機能評価機構サーベイヤ（コアメンバー）（1997年度～1998年度）

・日本医療機能評価機構認定訪問調査員（1999年度～現在）

・宮城県病院経営健全化委員会委員（1998～1999年度）

・宮城県子ども病院構想委員会委員（1998年4月～1999年3月）

・宮城県子ども病院運営主体選定（評価委員会委員）（1999～2000年度）

・宮城県子ども病院運営委員会座長代理（2000年4月～2004年3月）

- ・ 仙台市介護保険運営委員会委員長（2000年11月～2003年3月）
 - ・ 高齢者認知症介護研究研修仙台センター運営委員会委員（2001年4月～現在）
 - ・ 宮城県政策評価部会長，宮城県行政評価委員会副委員長（2001年4月～2009年3月）
 - ・ 社会福祉士養成所（通信課程）指導講師（財：日本総合研究所，厚生労働省指定）（2001年4月～2009年3月）
 - ・ 宮城大学外部評価委員会委員（2002年4月～2003年3月）
 - ・ 仙台市介護保険審議会会長（2003年3月～2012年3月）
 - ・ 宮城県看護協会セカンド・レベル（副看護部長養成コース）講師（2003年4月～現在）
 - ・ 四病院団体医療安全管理セミナー講師（データ解析担当）（2005年4月～2008年3月）
 - ・ 未来志向研究プロジェクト（老人保健事業）（2006年4月～2007年3月）
 - ・ シンクタンク時代刷新（塩川正十郎会長）理事（2006年4月～現在）
 - ・ 宮城県病院協会顧問（2007年4月～現在）
 - ・ みやぎ保健医療福祉分野 IT 産業振興協議会（MHIS）会長（2007年4月～現在）
 - ・ ケアマネジャー研修事業評価委員会委員長（文部科学省運営委託事業「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」，広島県立大学（2007年4月～2010年3月）
 - ・ 宮城県医療費適正化計画策定懇談会委員（2008年4月～2011年3月）
- ・ 宮城県政策評価システム設計では，宮城県と双方向政策施策評価県民満足度調査システムを共同で開発構築して実際に運用されている。また政策評価について宮城県庁職員を対象に毎年研修セミナーを開催し，平成20年度まで講師を担当した。

国際的な貢献活動（各種委員，活動内容など）

- ・ 韓国の介護保険制度準備に関する国際シンポジウムに招待され，日本の介護保険制度について紹介し，韓国の制度準備に情報提供を行った。また特別講義で韓国の大学生，行政関係者，研究者に日本の介護保険制度を紹介し討論を重ねた。この活動は韓国アジュン市（平成17年3月，18年4月，20年5月）と東京（平成17年8月，18年8月）で行った。
- ・ 韓国ケアマネジメント学会から招請され，第2回全国大会（ソウル）で，介護評価とモニタリングに関する招待講演（学術講演）を行った。

その他特記すべき事項（公開講座・社会人教育・生涯学習活動，オープンキャンパス・出前授業・高大連携等への貢献，社会貢献活動による受賞，社会への情報提供活動など）

- ・ 2004年 宮城県主催，経済学研究科共済の県民大学の企画（地域政策と評価）の演者
- ・ 2011年 学都仙台コンソーシアムでの市民公開講座講師

業 績 目 録

I. 著書

1. Cost-benefit evaluation of medical care services in a hospital
Sekita, Y. and Fujisaku, S., 1980.10, 641 – 645, MEDINFO 80, North-Holland, in :
Lindberg, D. A. B. and Kaihara, S. (eds.)
2. A fuzzified relevance tree approach for solving the complex planning
Sekita, Y. and Mizumoto, M. , 1982.6, 401 – 408, Approximate Reasoning in
Decision Analysis, North- Holland, in : Gupta, M. M. and Sanchez, E. (eds.)
3. 医療システムの将来戦略－医療機能の分化と統合
藤咲暹, 関田康慶 (第 I 章～Ⅶ章), 1989年11月, 1 -260, 医学書院
4. 「明日のグループ診療」
社会保険研究所, 1994年 7 月
関田康慶：『グループ診療に関するモデル論的一考察』, 133-144
5. 「衛生・公衆衛生学（山本玲子編）」
弘学出版, 2001年 5 月, 2003年 3 月（改定版）
関田康慶：『社会保障・社会福祉・医療制度とシステム』（第Ⅵ章）, 171-206,
『国際保健』（Ⅶ章）, 207 – 215
6. 「医療情報－医療情報システム編（日本医療情報学会編）」
日本医療情報学会・篠原出版,
関田康慶：『福祉情報システム』, 159 – 163, 2004年 3 月, 177-181, 2006年
3 月（改定版）
7. 「医療安全管理テキスト」
（財）日本規格協会, 2005年 8 月, 2008年 5 月（改訂版）
関田康慶：『データ解析の理解と統計分析のリスクマネジメントへの応用』,
209-231
8. 「公衆衛生学（山本玲子編）」
アイ・ケイコーポレーション, 2006年 4 月, 2008年 4 月（第 3 版）
関田康慶：『保健・医療・福祉・介護制度とシステム』（第 7 章）, 102-131

9. 「衛生・公衆衛生学（山本玲子編）」

アイ・ケイコーポレーション

関田康慶：『保健・医療・福祉・介護制度とシステム』（第7章）

102-131, 2009年4月, 109-139, 2010年4月（改訂版）, 106-137, 2011年4月（改訂版）

10. 「医療情報－医療情報システム編（日本医療情報学会編）」

日本医療情報学会・篠原出版

関田康慶：『介護保険制度と介護事業を支える情報システム』, 258-264, 2009年6月, 256-262, 2010年4月（改定版）

11. 「介護イノベーション－介護ビジネスをつくる，つなげる，創造する－」（編集代表 田中滋，栃本一三郎：介護経営学会編集支援）

第一法規出版，2011年9月

関田康慶（編集委員）：『介護経営におけるリスクマネジメント経営戦略と方法論』（第Ⅲ編第5章），292-314

II. 事典

1. 「医療・病院管理事典」

日本病院管理学会 学術情報委員会編，ミクス社

関田康慶：p.15, p.23, p.68, p.106, 1997年7月

p.15, p.23, p.68, p.71, p.106, 1998年3月

p.24, p.34, p.105, p.109, p.165, 2001年

2. 「医療・病院管理事典」

日本病院管理学会 学術情報委員会編，エルゼビア・ジャパン，2006年4月

関田康慶：p.29, p.87, p.133

III. 書評

1. 『Ervin Laszlo, ed., The Relevance of General Systems Theory』

関田康慶，大阪大学経済学 25-1, 210-216, 1975年6月

2. 『英国の病院と医療－二百年の歩み』

B. エイペールスミス著 多田羅浩三 大和田建太郎 訳，保健同人社，1981年9月

『我が国の医療に示唆』関田康慶，病院 41巻2号，156，1982年2月

3. 『ケアエコノミクス－医療福祉の経済保障』, 岡本悦司, 医学書院, 2001年3月

学術論文

* 1974-1979 (昭和49－昭和54) 年

1. 病院機能とその評価について
関田康慶, 大阪大学経済学, 24-3, 59-85, 1974年12月
2. 複雑な社会システムの fuzzy 論的評価に関する一考察
関田康慶, 大阪大学経済学, 25-2・3, 312-325, 1975年12月
3. Fuzzy 測度の同定に関する一考察
関田康慶, 大阪大学経済学, 25-4, 133-138, 1976年3月
4. 病院コンピュータ化の現状分析 (I)－病院の特徴と導入・利用コンピュータの規模に関する判別分析－
関田康慶, 太田拓男, 大阪大学経済学, 26-1・2, 68-86, 1976年9月
5. Fuzzy 論的意思決定と OR
田畑吉雄, 関田康慶, オペレーションズ・リサーチ 21, 518-523, 1976年
6. 病院コンピュータ化の現状分析 (II)－医療機関におけるコンピュータの利用過程とその影響・効果－
関田康慶, 太田拓男, 大阪大学経済学, 26-3・4, 352-364, 1977年3月
7. 病院診療サービスの費用便益的評価の一側面
関田康慶, 曾国雄, 病院管理, 14 (4), 53-61, 1977年10月
8. An Analysis of Research Data on Health Status and Hospital Visiting Behaviour
Yasuyoshi Sekita and Takuo Ohta, Behaviourmetrika, No.5, 41-54, 1978
9. A health status index model using a fuzzy approach.
Sekita Y. and Tabata, Y., European. J. Operational Research. 3 (1), 40-49, 1979. 1
10. 病院医療の評価－経済効率面から
関田康慶, 病院管理, 16 (2), 58-66, 1979年4月
11. Some Considerations of Fuzzy Hierarchical System
Yasuyoshi Sekita, OSAKA ECONOMIC PAPERS, 29-2, 59-68, 1979. 9

* 1980-1984 (昭和55 - 昭和59) 年

12. 老人医療の趨勢とシステムズアプローチ
関田康慶, 大道学, 各務正俊, 村上幸子, 老年社会科学, 154-167, 1980年
13. 老人病床占有率の特性と制御
関田康慶, 藤咲暹, 病院管理, 19 (1), 25-38, 1982年 1 月
14. New identification algorithm of fuzzy measures and application of fuzzy integral to a clinical diagnosis.
Fujisaku, S. , Umezumi, M. and Sekita Y. , Ann. Applied Information Sciences, 8 (1), 59-72, 1982. 7
15. 胃集検ダブルチェックの評価指標構造と特性
関田康慶, 藤咲暹, 癌の臨床, 28 (11), 1285-1289, 1982年 9 月
16. 老年人口割合と疾患別死亡率との関連
関田康慶, 藤咲暹, 老年社会科学, Vol. 4, 42-56, 1982年10月
17. 脳卒中に対する包括医療の効果
関田康慶, 藤咲暹, 病院管理, 19 (4), 15-25, 1982年10月
18. 意思決定のための病院情報共同利用システム
太田拓男・関田康慶, 大阪大学経済学, 32-2・3, 96-106, 1982年12月
19. 地震災害時の負傷者発生と医療機能の関連分析
藤咲暹, 関田康慶, 病院管理, 20 (1), 45 - 55, 1983年 1 月
20. Measurement of clinical departments differentiation using the entropy.
Sekita Y. and Fujisaku, S. , Ann. Applied Information Sciences, 8 (2), 77-89, 1983. 3
21. 患者訪医行動の分析
関田康慶, 藤咲暹, 太田拓男, 横山保, 病院管理, 20 (2), 121-135, 1983年 4 月
22. 医療情報学の最近の進歩 - 医療システム科学に関連する分野
関田康慶, 医療情報学, 3 (1), 8-14, 1983年 4 月
23. Time Series Trend of the Clinical Departments of General Hospitals in Japan
Yasuyoshi Sekita, Susumu Hujisaku, Japan Hospitals, N.o. 2, 33-44, 1983.7

24. 外来患者の院内滞在時間から見た外来システムの合理化について－東北大学医学部付属病院のケーススタディー
二宮本報, 関田康慶, 藤咲暹, 病院管理, 20 (3), 29-46, 1983年7月
25. 病院の専門化と地域医療
関田康慶, 病院, 42 (8), 24-31, 1983年8月
26. 臥床者の疾病と医療－宮城県岩沼保健所管内臥床者実態調査
藤咲暹, 関田康慶, 市川礼子, 山口昌子, 一ノ渡義己, 老年社会科学, 5, 207-223, 1983年10月
27. A data base approach to common utilization system of hospital information in Osaka.
Sekita Y., Omichi, M., Maki, Y., Ohta, T., Matsuto, T., Takeda, H., Fujisaku, S., Kawasaki, S., World Hospitals, 19 (4), 16-19, 1983. 11
28. 大阪府病院情報共同利用システム (CUSHIO)
大道学, 牧安孝, 田辺俊男, 太田拓男, 松戸武彦, 武田裕, 関田康慶, 藤咲暹, 第3回医療情報学連合大会論文集, 265-266, 1983年11月
29. Comparison of examinees' judgement of health status using data in an AMHTS.
Sekita Y., Ohta, T., Inoue, M., Takeda, H., Methods of Information in Medicine 23 (1), 15-22, 1984. 1
30. 病院機能分化の経営に及ぼす影響－老人病棟分化のモデル・アプローチ
関田康慶, 藤咲暹, 病院管理, 21 (1), 13-21, 1984年1月
31. 病床規模による固定費用関数の推定
関田康慶, 藤咲暹, 病院管理, 21 (2), 45-51, 1984年4月
32. 患者の医療機関選択の動機と医療機関の対応
関田康慶, 医療経営情報, No.1, 24-29, 1984年4月
33. 老人患者の訪医行動
関田康慶, 医療経営情報, No.2, 8-12, 1984年6月
34. A decision support system for regional health care planning in a metropolitan area.
Omichi, M., Maki, Y., Ohta, T., Sekita Y., Fujisaku, S., Japan hospitals, No. 3, 19-23, 1984. 7

35. Differential diagnostic analysis of chronic liver diseases using discriminant analysis and liver function test sets.
Fujisaku, S. Fukao, A. , Ohtsuki, M. , and Sekita Y. , Ann. Applied Information Sciences, 9 (1) , 45-53, 1984. 10
36. 慢性肝疾患鑑別診断における検査の識別能
関田康慶, 深尾彰, 大槻昌夫, 藤咲暹, 第4回医療情報学連合大会論文集, 170-173, 1984年11月
37. 胃集検効果の評価－胃集検の効率化モデルへのシステムの側面からのアプローチ－
藤咲暹, 関田康慶, 消化器集団検診, No.62, 85-93, 1984年

*1985-1989 (昭和60－昭和64) 年

38. Cost-benefit evaluation of comprehensive medical care for cerebral strokes.
Sekita, Y. , Medical Informatics 10 (1) , 59-71, 1985. 1
39. 医療機能システム化の診断精度, 患者負担, 資源利用に及ぼす影響
関田康慶, 藤咲暹, 病院管理, 22 (3), 25-34, 1985年7月
40. 医療保険給付率が患者数及び診療収入に及ぼすインパクト
関田康慶, 藤咲暹, 第5回医療情報学連合大会論文集, 35-38, 1985年11月
41. 医療機能分化への移行過程とリスクマネジメント
関田康慶, 藤咲暹, 病院管理, 23 (1), 5-14, 1986年1月
42. 病院の力－医療環境構造の変化と利用者への対応
関田康慶, 病院, 45 (3), 21-27, 1986年3月
43. 多変量解析を用いての甲状腺分化癌の予後に関する検討
森洋子, 宮田幸比古, 武田裕, 高屋潔, 佐々木崇, 田口善雄, 森昌造, 関田康慶, 他, 内分泌外科, 4 (4), 471-476, 1987年10月
44. The future of Japaneses hospitals; Projection by hospital directors and their implication.
Omichi, M. , Ito, K. , Nakago, M. , Nakano, S. , Miyazaki, k. , Miyake, H. , Tanaka, H. , Umezato, Y. , Ogura, T. , Sekita, Y. , Fujisaku, S. , Japan hospitals, No. 7, 1-12, 1988. 7

45. 医療機能連携に関する病院長意識分析
関田康慶, 藤咲暹, 三宅浩之, 田中博, 梅里良正, 伊藤研, 中後勝, 中野進,
宮崎柏, 大道学, 第8回医療情報学連合大会論文集, 857-860, 1988年12
月

*1990-1994 (平成2 - 平成6) 年

46. センター方式診療所グループメディカル・システム (CGMS) 支援情報システム (第2報)
関田康慶, 石川澄, 真田英彦, 牧川方昭, 稲田紘, 第9回医療情報学連合大会論文集, 209-210, 1990年2月
47. CGMS 支援情報システム - 診療所センター方式グループメディカル・システムの発展に向けて -
関田康慶, 石川澄, 稲田紘, 医療とコンピュータ, 3 (2), 32-38, 1990年6月
48. A decision support model and analysis for hospital administrators when choosing future strategies of their hospitals.
Sekita Y., Omichi, M., Japan hospitals, No. 9, 31-36, 1990. 7
49. Cerebral Circulation and Oxygen Metabolism Associated with Subclinical Periventricular hyperintensity As Shown by Magnetic Resonance Imaging
Kenichi Meguro, Jun Hatazawa, Tatuo Yamaguchi, Taji Matuzawa, Yasuyoshi Sekita et al, Annals of Neurology, 28 (3), 378-383, 1990. 9
50. 保健・医療・福祉における関連機関の機能分担と連携の必要性と成功への条件
関田康慶, The Home Care, 10, 14-17, 1990年10月
51. Disturbance in daily sleep / Wake patterns in patients with cognitive impairment and decreased daily activity
Meguro, K., Ueda, M., Yamaguchi, T., Sekita, Y., Yamazaki, H., Oikawa, Y., Kikuchi, Y., Matsuzawa, T., American Geriatrics Society, 1176 - 1182, 1990.11
52. CGMS 支援情報システム (第3報)
関田康慶, 石川澄, 牧川方昭, 稲田紘, 尾崎忠雄, 第10回医療情報学連合大会論文集, 575-576, 1990年11月
53. 在宅医療を支援する複合情報システムの研究
石川澄, 酒井俊一, 稲田紘, 関田康慶, 井上通敏, 他, 第10回医療情報学連合大会論文集, 587-588, 1990年11月

54. 循環器系疾患の受療率を決定する要因に関する研究
関田康慶, 李輝, 濃沼信夫, 病院管理, 28 (2), 11-22, 1991年 4 月
55. Personal Health Data Based Community Health Care Management System
Integration Design
K. Ishikawa, H.Inada, Y.Sekita, H.Takeda M.Inoue, X VI International
Conference on MEDICAL AND BIOLOGICAL ENGINEERING, 108, 1991.7
56. A Study on a CGMS (Centralized Group Medical System) Support Information
System
Y.Sekita, K. Ishikawa, H.Inada, M.Makikawa et al, X VI International
Conference on MEDICAL AND BIOLOGICAL ENGINEERING, 948, 1991.7
57. CGMS (センター方式診療所グループメディカル・システム) 支援情報シ
ステム (第3報)
関田康慶, 石川澄, 牧川方昭, 佐藤俊輔, 堀尾裕幸, 稲田紘, 医用電子と生
体工学, Vol.29, 84, 1991年 7 月
58. 在宅医療支援情報システムに関する研究
稲田紘, 堀尾裕幸, 関田康慶, 石川澄, 牧川方昭, 古川俊之, 他, 医用電子
と生体工, Vol.29, 83, 1991年 7 月
59. CGMS 支援情報システム (第4報)
関田康慶, 石川澄, 堀尾裕幸, 稲田紘, 濃沼信夫, 第11回医療情報学連合大
会論文集, 643-64, 1991年11月
60. PHD (個人健康情報) 運用管理の技術的要件
石川澄, 井上道敏, 武田裕, 稲田紘, 関田康慶, 阿部裕, 第11回医療情報学
連合大会論文集, 489-492, 1991年11月
61. 在宅医療支援情報システムの開発
稲田紘, 堀尾裕幸, 関田康慶, 石川澄, 古川俊之, 他, 第11回医療情報学連
合大会論文集, 641-642, 1991年11月
62. 滲出性中耳炎汚予測への判断分析導入の試み
末武光子, 小林俊光, 高坂知節, 関田康慶, 濃沼信夫, Otol.Jpn. 1 (2), 11-
15, 1991
63. 労働生産性の病院格差に関する分析
関田康慶, 濃沼信夫, 病院管理, 29 (2), 47-55, 1992年 4 月

64. A study of periventricular hyperintensity. I. normal brain aging
Meguro, K. , Sekita, Y. , Ueda, Yamaguchi, T. , Tanada, K. , Hishinuma, T. , Matsuzawa, T., Arch. Gerontol Geriatr. 14, 183-191, 1992. 11
65. CGMS（診療所センター方式グループメディカル・システム）の特性と経営成立条件
関田康慶, 石川澄, 小野丞二, 稲田紘, 濃沼信夫, 藤咲暹, 病院管理, 30(2), 135-141, 1993年4月
66. 救急医療情報システムの運用実態と評価
安田恒人, 石川澄, 稲田紘, 島千加良, 高橋隆, 田代祐基, 都築和正, 長瀬淑子, 山本勝, 関田康慶, 第13回医療情報学連合大会論文集, 747-748, 1993年11月
67. 地域保健医療情報システムの現状と将来展開
関田康慶, 田代祐基, 竹内文生, 大槻陽一, 岩崎益実, 第13回医療情報学連合大会論文集, 105-109, 1993年11月
68. 医療経済のパラダイムシフトと病院経営戦略
関田康慶, 日本病院会雑誌, 41(2), 23-43, 1994年2月
69. 診療報酬改定影響率の測定方法と分布関数分析
関田康慶, 濃沼信夫, 梅里良正, 桜井裕, 安藤高夫, 大道学, 河北博文, 病院管理, 31(2), 19-29, 1994年4月
70. 地域保健・医療・福祉支援情報システムの構築に関する研究
関田康慶, 竹内文生, 石川澄, 吉田途男, 堀尾裕幸, 稲田紘, 医用電子と生体工学, Vol.33, 特別号, 448, 1994年5月
71. サイコオンコロジーの理論と実際
濃沼信夫, 関田康慶, 外科治療, 70(6), 809-815, 1994年6月
72. 地域保健・医療・福祉支援情報システムの構築に関する研究
関田康慶, 濃沼信夫, 竹内文生, 石川澄, 峰浦耕蔵, 藤咲暹, 堀尾裕幸, 稲田紘, 第14回医療情報学連合大会論文集, 689-690, 1994年11月
73. 在宅医療支援情報システムの開発
石川澄, 吉田建男, 関田康慶, 堀尾裕幸, 稲田紘, 他, 第14回医療情報学連合大会論493-496, 1994年11月

74. Ige-Mediated Hypersensitivity and Contact Sensitivity to Multiple Environmental Allergens in Atopic Dermatitis
M.Tanaka,S.Akiba,N.Matsumurta,H.Aoyama,N.Tabata,Y.Sekita,H.Tagami,
Archives of Dermatology, Vol.130, 1393-1400,1994.11

*1995-1999 (平成7 - 平成11) 年

75. わが国のアレルギー診療の将来性－市町村部等における将来性
関田康慶, アレルギー診療研究, 1 (1), 19-29, 1995年3月
76. 市町村部でのアレルギー診療の必然性と発展の条件
関田康慶, MMRC, 6 (5), 8-11, 1995年5月
77. 費用便益モデルの構造と展開
濃沼信夫, 関田康慶, 感染症, 25 (3), 33-39, 1995年5月
78. アレルギー診療の問題点と解決策
関田康慶, プライマリケア, 18 (3), 215-218, 1995年9月
79. 地域保健・医療・福祉支援情報システムの構築に関する研究
関田康慶, 濃沼信夫, 竹内文生, 石川澄, 堀江敏正, 平井二郎, 堀尾裕幸,
稲田紘, 第15回医療情報学連合大会論文集, 377-378, 1995年11月
80. 在宅医療支援情報システムの開発 (第3報)
石川澄, 関田康慶, 竹内文夫, 稲田紘, 安田恒人, 他, 第15回医療情報学連
合大会論文集, 57-58, 1995年11月
81. 地域における保健・医療・福祉連携支援情報システムの構築をめぐって
石川澄, 関田康慶, 吉田途男, 稲田紘, 堀尾裕幸, 他, 第15回医療情報学連
合大会論文集, 375-376, 1995年11月
82. 経営管理評価指標と指標の統合化
関田康慶, 病院, 55 (4), 387-390, 1996年4月
83. 医療情報システム開発の現況と今後の在り方
大槲陽一, 春木康男, 岡田好一, 熊本一朗, 木村通男, 関田康慶, Progress
in Medicine, 16 (4), 7-10, 1996年4月
84. 病院経営の新しい指標－病院競争下における経営意思決定への分布関数分析
の導入と利用法
関田康慶, 病院, 55 (7), 676-680, 1996年7月

85. 保健, 医療, 福祉統合情報システム化のニーズ調査分析
関田康慶, 竹内文夫, 稲田紘, 安田恒人, 第16回医療情報学連合大会論文集,
536-537, 1996年11月
86. 病院情報システムの現状と近未来像－全国アンケート調査結果
春木康男, 関田康慶, 木村通男, 熊本一朗, 大櫛陽一, 岡田好一, 第16回医
療情報学連合大会論文集, 706-707, 1996年11月
87. 医療情報システムの未来像についての調査
木村通男, 大櫛陽一, 春木康男, 岡田好一, 熊本一朗, 関田康慶, 第16回医
療情報学連合大会論文集, 708-709, 1996年11月
88. 市町村における情報システム導入のためのガイドラインの作成の試み
竹内文夫, 関田康慶, 稲田紘, 安田恒人, 第16回医療情報学連合大会論文集,
532-533, 1996年11月
89. 市町村保健・福祉支援情報システムに関する研究－システムの構築と運用
三神武則, 堀江敏正, 関田康慶, 濃沼信夫, 竹内文夫, 稲田紘, 第16回医療
情報学連合大会論文集, 534-535, 1996年11月
90. 乳癌治療の経済効果に関する研究
濃沼信夫, 伊藤道哉, 関田康慶, 他, 第16回医療情報学連合大会論文集,
568-569, 1996年11月
91. 地域保健・医療・福祉システムの構築－福祉情報システムの構築方法
関田康慶, 増子正, 安保英勇, 他, 第17回医療情報学会連合大会論文集,
822-823, 1997年
92. 質問紙調査による日本の病院情報システムの現状と評価及び近未来システム
への展望
春木康男, 関田康慶, 木村通男, 熊本一朗, 大櫛陽一, 岡田好一, 医療情報
学, Vol.17, No.2, 141-151, 1997年
93. 地域医療・福祉データ集積システム構築と分析フィードバック
関田康慶, 伊藤 道哉, 稲田紘, 日本行動計量学会大会発表論文抄録集, 25,
74-75, 1997年 8 月
94. 高齢者の認知機能 : 田尻町 MMS 検査の分析
石崎淳一, 目黒謙一, 安保勇, 島田真須美, 山口智, 早坂智佳, 関田康慶,
山鳥重, 日本行動計量学会大会発表論文抄録集, 25, 82-83, 1997年 8 月

95. 市町村における保健・医療・福祉連携の標準化方法と情報信頼性の検討－高齢者カルテ方式と連携データベース－
関田康慶, 増子正, 安保英勇, 伊藤道哉, 稲田紘, 医療情報学, Vol.18, No.3, 241-250, 1998年8月
96. 地域保健・医療・福祉システムの評価方法と検証－情報システムによる連携効果の定量的測定
増子正, 関田康慶, 稲田紘, 他, 第18回医療情報学会連合大会論文集, 596-597, 1998年11月
97. 在宅介護の支援情報の体系化と活用方法
関田康慶, 第18回医療情報学会連合大会論文集, 566-567, 1998年11月
98. 医療情報システム評価指標のフィールドにおける検証
春木康男, 大槲陽一, 岡田好一, 木村通男, 熊本一郎, 関田康慶, 他, 第18回医療情報学会連合大会論文集, 474-475, 1998年11月
99. 2次医療圏における保健医療福祉の連携システム構築の方法論と評価に関する研究
信川益明, 稲田紘, 関田康慶, 第19回医療情報学連合大会論文集, 586-587, 1998年11月
100. 競争・選択・淘汰の時代の品質管理
川合弘毅, 佐藤真杉, 大道久, 廣瀬チワ子, 関田康慶, 日本病院会雑誌 (Journal of Japan Hospital Association), 45 (1), 40-64, 1998年
101. A Normative, Community-Based Study of Mini-Mental State in Elderly Adults: The Effect of Age and Educational Level
J. Ishizaki, Y. Sekita, et al, Journal of Gerontology: PSYCHOLOGICAL SCIENCES, Vol.53B, No.6, 359-363, 1998
102. Prevalence of senile dementia in a Rural community in Japan: the Tajiri project
H. Ishii, K. Meguro, Y. Sekita, et al, Archives of Gerontology and Geriatrics, Vol.29, 249-265, 1999. 9
103. 公的介護保険におけるケアプランの評価, モニタリングの体系化と支援情報システム
関田康慶, 増子正, 加藤由美, 山本邦男, 糟谷昌志, 他, 第19回医療情報学連合大会論文集, 462-463, 1999年11月

104. 電子カルテ導入に関する問題点の要因分析
増子正, 関田康慶, 安田恒人, 他, 第19回医療情報学連合大会論文集, 508-509, 1999年11月
105. 在宅高齢者の健康情報収集システムの開発と試用に関する研究 (第2報)
稲田紘, 正宗賢, 石川澄, 関田康慶, 他, 第19回医療情報学連合大会論文集, 260-261, 1999年11月
106. 2次医療圏における保健医療福祉の連携システム構築方法論と評価に関する研究
信川益明, 稲田紘, 関田康慶, 第19回医療情報学連合大会論文集, 710-711, 1999年11月
107. Status and Perspective of Hospital Information Systems in Japan
Y.Haruki, Y.Ogushi, Y.Sekita, et al, Method of Information in Medicine, Vol.38, No.3, 200-206, 1999
108. Development of a health information collection system for the elderly at home
Inada H, Nakazawa K, Sekita Y. et al, Proceed. of the 4th APCMBE, 116-118, 1999
109. 保険薬局における患者満足度の相関分析
糟谷昌志, 関田康慶, 事業構想学部紀要 (宮城大学), No2, 67-75, 1999年
110. 医療機関と保険薬局における患者情報の連携に関する実証分析
糟谷昌志, 関田康慶, 事業構想学部紀要 (宮城大学), No3, 33-42, 1999年

* 2000-2004 (平成12 - 平成16) 年

111. 診療報酬改定と病院の意思決定
李忻, 関田康慶, 病院管理, 第37巻, 第4号, 15-24, 2000年10月
112. 血液透析患者の心理・社会的ニーズの傾向に関する実証分析
加藤由美, 関野宏, 関田康慶, 病院管理, 37 (4), 25-34, 2000年10月
113. 新コミュニティの形成による介護サービスの効率的提供
関田康慶, 加藤由美, 糟谷昌志, 小湊純一, 都市計画, 第49巻, 第4号, 15-20, 2000年10月
114. 診療録管理体制に関する現状分析
李忻, 加藤由美, 関田康慶, 他, 医療情報学 (第20回医療情報連合大会論文集), Vol.20 (Suppl.) 2, 92-93, 2000年11月

115. クリニカルパスの効果と医療の標準化に関する研究
濱田八重子, 伊藤尚子, 関田康慶, 他, 医療情報学 (第20回医療情報連合大会論文集), Vol.20 (Suppl.) 2, 384-385, 2000年11月
116. クリティカルパス成果管理基準とシートの開発
猪股千代子, 伊藤尚子, 関田康慶, 他, 医療情報学 (第20回医療情報連合大会論文集), Vol.20 (Suppl.) 2, 386-387, 2000年11月
117. インターネット上の介護・福祉情報流通に関する意識調査
石垣政裕, 片山静子, 関田康慶, 他, 医療情報学 (第20回医療情報連合大会論文集), Vol.20 (Suppl.) 2, 764-765, 2000年11月
118. 市民参加による保健・医療・福祉情報システム構築の可能性に関する研究
増子正, 関田康慶, 他, 医療情報学 (第20回医療情報連合大会論文集), Vol.20 (Suppl.) 2, 766-767, 2000年11月
119. TV メディアを利用した介護保険制度の理解度変化および介護保険制度利用意向に及ぼす影響に関する研究 (1) - 制度理解と利用意向への影響度分析
糟谷昌志, 加藤由美, 関田康慶, 他, 医療情報学 (第20回医療情報連合大会論文集), Vol.20 (Suppl.) 2, 768-769, 2000年11月
120. TV メディアを利用した介護保険制度の理解度変化および介護保険制度利用意向に及ぼす影響に関する研究 (2) - 制度理解と利用意向への影響度分析
加藤由美, 糟谷昌志, 関田康慶, 他, 医療情報学 (第20回医療情報連合大会論文集), Vol.20 (Suppl.) 2, 770-771, 2000年11月
121. 介護保険モニタリング情報流通におけるセキュリティ管理
マンスフィールド・グレン, 阿部勝久, 関田康慶, 他, 医療情報学 (第20回医療情報連合大会論文集), Vol.20 (Suppl.) 2, 784-785, 2000年11月
122. ケアマネジメントを情報拠点としたモニタリングシステムの設計
鷹野和美, 都築光一, 関田康慶, 他, 医療情報学 (第20回医療情報連合大会論文集), Vol.20 (Suppl.) 2, 788-789, 2000年11月
123. ケアマネジメントモニタリングシートの評価項目及びシートの設計と検証
田中治和, 都築光一, 関田康慶, 他, 医療情報学 (第20回医療情報連合大会論文集), Vol.20 (Suppl.) 2, 790-791, 2000年11月
124. 2次医療圏における保健医療福祉の連携システム構築の方法論と評価に関する研究 医療連携の広域化に関する実態調査
信川益明, 稲田紘, 関田康慶, 医療情報学 (第20回医療情報連合大会論文集), Vol.20 (Suppl.) 2, 704-705, 2000年11月

125. 介護保険制度におけるモニタリングシステムの概念と開発の方法論
関田康慶, 都築光一, 加藤由美, 糟谷昌志, 他, 医療情報学 (第20回医療情報連合大会論文集), Vol.20 (Suppl.) 2, 786-787, 2000年11月
126. モニタリング情報システムの設計と開発
都築光一, 加藤由美, 関田康慶, 他, 医療情報学 (第20回医療情報連合大会論文集), Vol.20 (Suppl.) 2, 786-787, 2000年
127. 高齢化社会における地域福祉システム化 公的介護保険の導入と新しいコミュニティ (特集 地域福祉ネットワークの課題)
関田康慶, 加藤由美, 糟谷昌志, 社会学年報 (29), 1-15, 2000年
128. コミュニティ福祉のシステム設計と期待される介護保険の運用効果・効率 (日本計画行政学会東北支部第16回研究大会)
関田康慶, 東北開発研究 (117), 46-50, 2000年
129. A Study of Caregiver's QOL Related with Elderly's Mental States and N-ADL
M. Kasuya, Sekita Y, et al, Quality of Life Research, Vol.9, No3, 327-328, 2000
130. A 5-year retrospective examination of cognitive screening test stages in normal older adults and patients with Alzheimer's diseases: The Tajiri Project
Meguro K, Sekita Y, et al, Journal of Gerontology: Psychological Sciences, Vol. 56B, No.5, 314-318, 2001
131. 医療機関と保険薬局における患者情報の連携に関する実証分析
糟谷昌志, 関田康慶, 宮城大学事業構想学部紀要, 第3号, 33-41, 2001年3月
132. 患者がかかりつけ薬局を決定する要因分析
糟谷昌志, 加藤由美, 関田康慶, 他, Health Sciences, Vol.17, No.2, 55-65, 2001年4月
133. Care for the aged using the Internet
M.Ishigaki, Sekita Y, et al, Proceed. INET2001 June, 1-8, 2001.6
134. 次世代地域医療・福祉情報システムの設計
関田康慶, 加藤由美, 都築光一, 医療とコンピュータ, Vol.12, No.7, 22-26, 2001年7月

135. 病院・診療所の紹介連携の現状と今後の動向に関する考察－平成12年度診療報酬改定の影響度調査分析
赤木匠, 李忻, 関田康慶, 日本病院会雑誌, Vol.48, No.7, 145-149, 2001年7月
136. Depressive symptoms and associated factors in a cognitively normal elderly population: The Tajiri Project
Ambo H, Meguro K, Sekita Y, et al, International Journal of Geriatric Psychiatry, Vol.16, 780-788, 2001. 8
137. 政策・施策評価システムの設計と評価方法
関田康慶, 加藤由美, 会計検査研究, No.24, 21-44, 2001年9月
138. 医薬品情報の取扱い及び医薬品に関するリスクマネジメントの現状分析とその対策
糟谷昌志, 加藤由美, 関田康慶, 医療情報学 (第21回医療情報連合大会論文集), Vol.21 (Suppl.), 287-288, 2001年11月
139. ケアマネジメントにおけるモニタリング評価について
都築光一, 糟谷昌志, 加藤由美, 関田康慶, 他, 医療情報学 (第21回医療情報連合大会論文集), Vol.21 (Suppl.), 674-675, 2001年11月
140. 介護保険モニタリング評価の検討
増子正, 糟谷昌志, 加藤由美, 関田康慶, 他, 医療情報学 (第21回医療情報連合大会論文集), Vol.21 (Suppl.), 676-677, 2001年11月
141. ケアマネジメントにおけるプロセス評価のためのモニタリングシート及びその手法
李忻, 糟谷昌志, 加藤由美, 関田康慶, 他, 医療情報学 (第21回医療情報連合大会論文集), Vol.21 (Suppl.), 678-679, 2001年11月
142. Cognitive function and frontal lobe atrophy in normal elderly adults: Implications for dementia not as aging-related disorders and the reserve hypothesis
Meguro K., Shimada M., Sekita Y., et al, Psychiatry and Clinical Neurosciences, Vol.55, 565-572, 2001. 12
143. 保険薬局の患者満足度に影響を与える要因分析
糟谷昌志, 加藤由美, 関田康慶, 他, 病院管理, 第38巻, 第1号, 7-14, 2001年

144. 基調報告 介護保険制度の現状と課題（日本計画行政学会東北支部第15回研修集会）
関田康慶，東北開発研究（120），42-45，2001年
145. 病院の医薬品採用に影響を与える要因に関する実証分析
糟谷昌志，安田一彦，関田康慶，宮城大学事業構想学部紀要（4），159-171，2001年
146. Design of Evaluation System and Evaluation Method on Policy-Program
Sekita Y, Kato Y, Government Auditing Review, Vol.9, 31-53, 2002. 03
147. Five-year retrospective change in hippocampal atrophy and cognitive screening test performances in very mild Alzheimer's disease: The Tajiri Project
Meguro K, Sekita Y, et al, Neuroradiology, Vol.44, 43-48, 2002
148. 高齢社会における地域福祉のシステム化－公的介護保険の導入と新しいコミュニティ
関田康慶，加藤由美，糟谷昌志，社会学年報，第29号，1-15，2002年
149. 田尻町スキップセンター・国保診療所外来受診者の推移から見た脳卒中・痴呆・寝たきり予防プロジェクトの進展：特に有病率調査の痴呆養予防への効果
目黒謙一，石井洋，関田康慶，他，病院管理，Vol.39（3），215-221，2002年
150. 痴呆に関する地域住民の意識と教育講演の効果：保健・医療・福祉の連携のために
目黒謙一，石井洋，関田康慶，病院管理，Vol.39（4），15-29，2002年
151. 2次医療圏における保健医療福祉の連携システム構築の方法論と評価に関する研究－保健医療福祉連携システムに関する実態調査－
信川益明，稲田紘，関田康慶，他，医療情報学（第22回医療情報連合大会論文集），Vol.22（Suppl.），267-268，2002年
152. Therapeutic Psychosocial Intervention for Elderly Subjects With Very Mild Alzheimer Disease in a Community: The Tajiri Project
Ishizaki, Kenichi Meguro, Yasuyoshi Sekita, et al, Alzheimer Disease and Associated Disorders, Vol.16, No.4, 261-269, 2002
153. クリティカルパス作成・活用におけるアウトカムの捉え方・設定方法 クリティカルパスに関するアウトカム調査の報告から
猪股千代子，関田康慶，他，EB ナーシング，Vol.2, No.3, 272-283, 2002年

154. 医療ソーシャルワーカーのコーディネーションに対する患者、家族、院内外関係者の満足度分析－効果性の評価視点に基づく医療福祉システムコーディネート機能の評価－
加藤由美, 糟谷昌志, 関田康慶, 他, 社会福祉学, 第43巻, 第1号, 54-66, 2002年
155. Prevalence of Dementia and Dementing Diseases in Japan
Meguro K, Ishii H, Sekita Y, 他 8 名, Arch Neurol Vol. 59, 1109-1114, 2002
156. シンポジウム／介護保険の問題点と今後の対応
(特集 公開フォーラム2002 コミュニティの再生－地方分権と地域経営・介護保険の問題点と今後の対応)(第2セッション／介護保険の問題点と今後の対応)
関田康慶, 熊谷啓子, 高山忠雄, 他, 東北開発研究 (124), 36-52, 2002年
157. 急性期を志向する病院の経営状況と今後の動向に関する考察：平成12年度診療報酬改定の影響度調査分析
赤木匠, 李忻, 糟谷昌志, 加藤由美, 山門和明, 下間幸雄, 梅里良正, 里村洋一, 元原利武, 三宅浩之, 中後勝, 関田康慶, 日本病院会雑誌 (Journal of Japan Hospital Association), 49 (8), 1164-1168, 2002年
158. 医療福祉の OR 的問題と新しいパラダイム
関田康慶, オペレーションズ・リサーチ第48巻 (5), 344-352, 2003年 5 月
159. 政策・施策評価におけるコミュニケーション調査の設計と検証
加藤由美, 糟谷昌志, 関田康慶, 他 3 名, 計画行政, 26巻 2 号, 2-14, 2003 年 6 月
160. クリティカル・パス成果測定指標によるシステムのアウトカム評価
猪股千代子, 板垣恵子, 関田康慶, 東北大学医療技術短期大学部紀要, 12 (2), 143-150, 2003年 7 月
161. ユニット化する居住機能に関する調査研究
都築光一, 関田康慶, 他 4 名, 日本計画行政学会第26回大会論文集, 95-98, 2003年 9 月
162. 宮城県民の福祉政策に対する評価分析
黄京蘭, 関田康慶, 他 3 名, 日本計画行政学会第26回大会論文集, 99-102, 2003年 9 月

163. 宮城県政策マネジメントシステムの設計と運用
武者宏, 関田康慶, 他 6 名, 日本計画行政学会第26回大会論文集, 231-234, 2003年 9 月
164. 市民参加型コミュニケーション調査データベースの政策評価への活用
加藤由美, 関田康慶, 他 3 名, 日本計画行政学会第26回大会論文集, 235-238, 2003年 9 月
165. 宮城県県民満足度コミュニケーション調査方式の評価分析
加藤由美, 宮川耕一, 関田康慶, 他 4 名, 日本計画行政学会第26回大会論文集, 239-242, 2003年 9 月
166. 病院情報システムと減価償却に関する研究
坂本眞一郎, 糟谷昌志, 関田康慶, 中後勝, 他, 第23回医療情報学会連合大会論文集, 168-171, 2003年11月
167. 病院と保険薬局の連携に関する研究
糟谷昌志, 関田康慶, 中後勝, 他, 第23回医療情報学会連合大会論文集, 299-302, 2003年11月
168. 2 次医療圏における保健医療福祉の連携システムの構築の方法論と評価に関する研究－問い合わせ・相談等の実態調査
信川益明, 稲田紘, 名和馨, 関田康慶, 他, 第23回医療情報学会連合大会論文集, 706-707, 2003年11月
169. 介護サービスモニタリング評価データベースシステム (Care Man) の開発
石垣政裕, 都築光一, 関田康慶, 他, 第23回医療情報学会連合大会論文集, 738-739, 2003年11月
170. オーダリングシステムと人件費に関する研究
糟谷昌志, 加藤由美, 里村洋一, 関田康慶, 中後勝, 他, 第23回医療情報学会連合大会論文集, 845-847, 2003年11月
171. Corpus Callosum Atrophy, White Matter Lesions, and Frontal Executive Dysfunction in Normal Aging and Alzheimer's Disease. A Community-Based Study The Tajiri Project
Meguro K, Shimada M, Sekita Y, 他 5 名, International Psychogeriatrics, Vol.15, No1, 9-25, 2003
172. 地域福祉活動計画策定における社会福祉協議会の事業評価に関する研究
増子正, 関田康慶, 他 2 名, 日本の地域福祉, 第16巻, 53-62, 2003年

173. 緊急報告フォーラム「激震 " 診療報酬改定の影響 "」: 平成14年度診療報酬改定の影響度調査分析
中後勝, 梅里良正, 里村洋一, 下間幸雄, 関田康慶, 加藤由美, 増子正, 山門和明, 李忻, 日本病院会雑誌 (Journal of Japan Hospital Association), 50 (1), 91-130, 2003年
174. 病院情報システムと経営効率に関する研究
糟谷昌志, 関田康慶, 他11名, 第24回医療情報学会連合大会論文集, 1082-1083, 2004年11月
175. 機能分化と医療経営
関田康慶, 日本病院会雑誌, 51 (12), 68-80, 2004年
176. 介護サービスに対する家族介護者の意識と評価に関する分析
黄京蘭, 関田康慶, 厚生指標, 51 (7), 9-15, 2004年
177. 医療経済学の概念と方法論
関田康慶, 理学療法, 21 (7), 907-915, 2004年
178. Prevalence and cognitive performances of Clinical Dementia Rating 0.5 and mild cognitive impairment in Japan: The Tajiri Project
Meguro K, Ishii H, Yamaguchi S, Sekita Y. 他 7, Alzheimer Disease and Associated Disorders, 18, 3-10, 2004
179. Neuropsychosocial Features of Very Mild Alzheimer's Disease (CDR0.5) and Progression to Dementia in a Community: The Tajiri Project
Meguro K, Yamaguchi S, Sekita Y. 他 5 名, Geriatric Psychiatry and Neurology, 17 (4), 183-189, 2004
180. インターネットを用いた地域健康管理支援システムの構築に関する研究
稲田紘, 西村治彦, 堀尾裕幸, 東ますみ, 水野 (松本) 由子, 狩野晋一郎, 片山文善, 関田康慶, 医療情報学, 24 (Suppl.), 492-493, 2004年

*2005-2009 (平成17 - 平成21) 年

181. 平成16年度診療報酬改定影響率の影響度評価と病院意思決定分析
関田康慶, 日本病院会雑誌, 52 (6), 45-59, 2005年 6 月
182. 2 次医療圏における保健医療福祉の連携システム構築の方法論と評価に関する研究 - 住民からの問い合わせ・相談等の実態調査
信川益明, 関田康慶, 他, 第25回医療情報学会連合大会論文集, 811-813, 2005年11月

183. 医療・福祉・居宅機能ユニット統合システムの視点から考察したグループ診療の効果と問題点
伊藤敦, 関田康慶, グループ診療研究, Vol.11, No.1, 27-40, 2005年
184. Woodwork effects of the Long-Term Care insurance:ecological study
Okamoto E, Sekita Y., Health Science, Vol. 21, no.3, 326 - 335, 2005
185. MSW のコーディネート機能による機能連携への貢献 - 平均在院日数短縮への貢献
関田康慶, 阿部真菜美, 病院, 65 (7), 586-589, 2006年 7 月
186. MSW のコーディネート機能と平均在院日数, 病床利用率への影響分析
阿部真菜美, 加藤由美, 関田 康慶, 病院, 65 (10), 838-841, 2006年10月
187. 電子カルテ導入の満足度に影響をおよぼす要因に関する研究
糟谷昌志, 加藤由美, 関田康慶, 他 5 名, 医療情報学 第26回医療情報学連合大会, 263-265, 2006年
188. 介護保険制度における小規模多機能福祉システムの設計・構築と実験的検証
柿沼利弘, 関田康慶, 介護経営, Vol.1, No.1, 12-19, 2006年
189. 医療事故の要因分析方法の違いと事故発生数推移との関連性についての検討
二瓶洋子, 関田康慶, 仙台市立病院医学雑誌, Vol. 26, 97-106, 2006年
190. 新介護保険制度の論点と市町村・介護保険事業者の計画と戦略対応
関田康慶, 東北開発研究, No. 141, 25-36, 2006年
191. 健康産業発展の意義と今後の展開
関田康慶, 東北開発研究, No. 142, 34-42, 2006年
192. 介護経営のリスクマネジメントと事業成功の条件
関田康慶, 月刊介護保険, 130, 40-41, 2006年
193. 保健・医療・福祉の連携に必要な視点
関田康慶, 月刊福祉, No.4, 22-27, 2007年 4 月
194. 医療・福祉・居宅機能ユニット統合センターの視点から考察したノルウェーのナーシングホームに関する特徴とかかりつけ医の役割
伊藤敦, 関田康慶, グループ診療研究, 13 (1), 25-39, 2007年 4 月
195. MSW のコーディネート機能による患者不安軽減効果の評価
加藤由美, 関田康慶, 病院, 66 (1), 64-69, 2007年

196. 診療報酬改定影響度分析と医療費抑制下の病院経営意思決定
関田康慶, 厚生サロン, 27 (2), 30-35, 2007年
197. 高齢化社会における地域福祉システム化－公的介護保険の導入と新しいコミュニティ－
関田康慶, 加藤由美, 糟谷昌志, 社会学年報, No.29, 1-15, 2007年7月
198. スウェーデンのスペシャルハウスに関する特徴とかかりつけ医の役割－医療・福祉・居宅機能ユニット統合センター訪問実態調査による検証－
伊藤敦, 関田康慶, グループ診療研究, 13 (2), 1-12, 2007年
199. 新介護保険制度対応介護モニタリング情報システムの設計
関田康慶, 高田純子, 工藤厚史, 佐藤美喜子, 他, 第27回医療情報学連合大会論文集, 790-793, 2007年
200. 診療報酬改定影響度測定方法の経営分析への応用システム設計
阿部真菜美, 関田康慶, 第27回医療情報学連合大会論文集, 563-566, 2007年
201. 東北における福祉制度対象者に関する市町村実態調査について－東北の市町村社会福祉統計資料作成の試み－
都築光一, 関田康慶, 他, 厚生指標, vol. 55 (11), 8-12, 2008年10月
202. 緊急災害・ネットワーク障害時にも利用可能なメッセージボードシステムの開発
石垣政裕, リヒターアクセル, 佐々木健治, 関田康慶, 他, 第28回 医療情報学連合大会論文集, 692-693, 2008年11月
203. 医療施設の経営分析を支援する Web 調査分析システムの開発
阿部真菜美, 関田康慶, 第28回 医療情報学連合大会論文集, 758-759, 2008年11月
204. 遠隔健康管理システムの動向とシステムおよび社会経済的視点からの比較分析
佐藤美喜子, 関田康慶, 第28回 医療情報学連合大会論文集, 768-769, 2008年11月
205. 経済性評価を考慮した介護保険モニタリング情報システム開発方法に関する考察
関田康慶, 石垣政裕, 高田純子, 工藤厚史, 柿沼倫弘, 阿部真菜美, 佐藤美喜子, 都築光一, 第28回 医療情報学連合大会論文集, 775-776, 2008年11月

206. ノルウェーにおけるデイサービスセンターの機能特性と運用環境
伊藤敦, 関田康慶, 第11回日本福祉のまちづくり学会全国大会論文集, 261-264, 2008年
207. 介護機能ユニット統合システムに関する一考察
柿沼倫弘, 関田康慶, 第11回日本福祉のまちづくり学会全国大会論文集, 147-150, 2008年
208. A Study on the Long-term care insurance and Care Management in Japan (韓国語, 英文抄録)
韓昌完, 関田康慶, Caremanagement Journal of Korea, No.2, 73-95, 2009年3月
209. ケアマネジメントにおける介護評価とモニタリングシステム (韓国語, 日本語)
関田康慶, 第2回韓国ケアマネジメント学会論文集, 7-18, 2009年3月
210. Design and Development of a Monitoring Information System based on the Care Management in Japan
Yasuyoshi Sekita, Chang-Wan Han, Korean Journal of Care Management, No. 3, 1-19, 2009. 6
211. A Preliminary Study for Developing a Preventive Community Care Service Program for the Elderly
Chang-Wan Han, Yasuyoshi Sekita, Kim, Eon-ji, Korean Journal of Care Management No. 3, 91-111, 2009. 6
212. 機能ユニット統合システム指数と利用者評価指数の考案ードイツ, 北欧諸国における医療・福祉・居宅機能ユニット統合システムの発展性に関する事例研究ー
伊藤敦, 関田康慶, 福祉のまちづくり研究 (学会誌), 11 (1), 27-39, 2009年7月
213. コーディネーターの相違が医療・福祉・居宅型統合センターのシステム資源運用に及ぼす影響
伊藤敦, 関田康慶, 寺崎仁, 大道久, 日本医療経営学会誌, 3 (1), 19-28, 2009年8月

214. 介護の質、介護サービスの質を反映した介護モニタリングシステムの開発に関する考察
関田康慶, 工藤厚史, 高田純子, 石垣政裕, 佐々木健治, 内田幸雄, 柿沼倫弘, 佐藤美喜子, グレンマンスフィールド, 第29回医療情報学連合大会論文集, 174-177, 2009年11月
215. MSW コーディネート機能の入退院モデル分析－連携モデル分析と平均在院日数分析
関田康慶, 病院, 68 (12) 2009, 1039-1043, 2009年12月
216. 高齢者医療における退院支援の現状と課題 (総説論文)
関田康慶, Geriatric Medicine (老年医学), 47 (3), 275-283, 2009年3月

*2010-2011 (平成22－平成23) 年

217. MSW コーディネート機能の入退院モデル分析－ケースミックス平均在院日数分析, 病床利用率分析, 入院収益分析, 入院収益貢献度分析
関田康慶, 病院, 69 (1) 2010, 54-61, 2010年1月
218. 構造方程式モデルを用いた Korean Version of Short-Form 36-Item Health Survey の構成概念妥当性の検証 (韓国語)
韓昌完, 李恩朱, 関田康慶, 上月正博, 韓国 Care management 学会誌, 第4号, 55-71, 2010年4月
219. 分析機能内蔵型 WEB 調査システムの設計と検証
佐藤美喜子, 関田康慶, 柿沼倫弘, 阿部真菜美, 渡辺正見, 第30回 医療情報学連合大会 (第11回日本医療情報学会学術大会) 論文集, 367-368, 2010年11月
220. 介護支援専門員による介護モニタリングシステムの評価実験
石垣政裕, 関田康慶, 佐々木健治, 柿沼倫弘, 佐藤美喜子, 内田幸雄, 工藤厚史, 高田純子, 第30回 医療情報学連合大会 (第11回日本医療情報学会学術大会) 論文集, 379-380, 2010年11月
221. 医療安全情報管理の現状分析
関田康慶, 柿沼倫弘, 佐藤美喜子, 二瓶洋子, 上西智子, 渡辺正見, 北野達也, 第30回 医療情報学連合大会 (第11回日本医療情報学会学術大会) 論文集, 518-521, 2010年11月
222. 介護機能ユニット統合型システムの実態分析と介護資源運用に関する考察
柿沼倫弘, 関田康慶, 社会福祉学, 51巻3号, 119-131, 2010年11月

223. 介護リスクマネジメントシステムの機能分析と実態分析－介護老人福祉施設と介護老人保健施設の比較分析－
柿沼倫弘, 柿沼利弘, 関田康慶, 介護経営, 第5巻第1号, 88-98, 2010年11月
224. The Reform of Long-term Care Insurance System And the Current Status and Tasks of Care Prevention Service in Japan (英語)
Chang-Wan Han, Toshihiro Fukushima, Masafumi Ide, Etsuo Horikawa, Yasuyoshi SEKITA, 医療経営学研究, 第4巻第2号, 19-30, 2010年12月
KCI (韓国学術振興財団認定誌)
225. 認知症に対する老人保健施設の機能 (第1報) 介護機能の調査
赤沼恭子, 目黒謙一, 関田康慶, 他, 訪問看護と介護, 15 (11), 895-901, 2010年
226. 認知症に対する介護老人保健施設の機能 (第2報) 医療機能の調査
赤沼恭子, 関田康慶, 目黒謙一, 訪問看護と介護, 15 (12), 992-999, 2010年
227. 認知症に対する介護老人保健施設の機能 (第3報) 介護老人保健施設Nの調査
赤沼恭子, 関田康慶, 目黒謙一, 訪問看護と介護, 15 (12), 1000-1002, 2010年
228. The Current Situation of Educational Gap and Tasks to Solve it in South Korea (英語)
Chang-Wan Han, Atsushi Tanaka, Eon-Ji Kim, Yasuyoshi SEKITA, 琉球大学教育学部紀要, 第78集, 93-100, 2011年2月
229. 韓国の老人長期療養保険サービスの実態とニーズに関する研究－要介護認定者に対するアンケート調査から (日本語)
韓昌完, 丁海龍, 関田康慶, 日本 Care management 学会誌「ケアマネジメント学」第9号, 45-56, 2011年3月
230. 韓国における職業リハビリテーションの現状と課題 (日本語)
韓昌完, 金紋廷, 関田康慶, アジア職業リハビリテーション研究, Vol.1, 28-47, 2011年3月

231. The Comparative Study on the Financial Resources of Empliment Policy of Persons with Disability (英語)
 Chang-Wan Han, Jeong-Ah Yoon, Atsushi Tanaka, Eon-Ji Kim, Yasuyoshi SEKITA, 琉球大学教育学部付属発達支援教育実践センター紀要, No.2, 71-85, 2011年

学会発表・学会に準ずる研究集会・セミナーでの発表

*1998-1999 (平成10 - 平成11) 年

1. "Tanaka -Binet Test performances in patients with Alzheimer's disease: Comparison with the mental development model by Piaget" (共同発表), 第6回国際アルツハイマー病学会議 (アムステルダム), 1998年7月
2. "Neuropsychological differences among normal elderly, suspected dementia, and early Alzheimer's disease as shown by CASI" (共同発表), 第6回国際アルツハイマー病学会議 (アムステルダム), 1998年7月
3. 「市町村における保健医療福祉連携の標準化方法と情報信頼性の検討」(共同発表), 第2回医療情報学会シンポジウム (MEDINFO'98) (ソウル市), 1998年8月20日
4. 「地方自治体に置ける保健・医療・福祉の評価のあり方について」(共同発表), 第21回日本計画行政学会 (福岡県北九州市), 1998年9月25日
5. 「公的介護保健導入時に求められる市町村の介護サービス支援の整備とデータベース化」, 第21回日本計画行政学会 (福岡県北九州市), 1998年9月25日
6. 「地域保健・医療・福祉情報システムによる連携効果の評価概念と方法」(共同発表), 第36回日本病院管理学会 (東京都板橋区), 1998年10月22日 - 23日
7. 「地域の保健・医療・福祉の連携をめざした情報システムの構築とその評価」(共同発表), 第36回日本病院管理学会 (東京都板橋区), 1998年10月22日 - 23日
8. 「医療機関及び調剤薬局の立地に関する分析と医薬分業の問題点」(共同発表), 第36回日本病院管理学会 (東京都板橋区), 1998年10月22日 - 23日

9. 「透析患者のニーズ分析と医療ソーシャルワーカーのコーディネート機能に関する研究（Ⅰ）」(共同発表), 第36回日本病院管理学会（東京都板橋区）, 1998年10月22日－23日
10. 「在宅高齢者介護者の介護充実感, QOL の構成要因分析」, 第36回日本病院管理学会（東京都板橋区）, 1998年10月22日－23日
11. 「市町村における保健・医療・福祉連携の標準化方法と情報信頼性の検討－高齢者カルテ方式と連携データベース－」(共同発表), 第18回医療情報学会連合大会（兵庫県神戸市）, 1998年11月19日－21日
12. 「地域保健・医療・福祉情報システムの評価方法と検証－情報システムによる連携効果の定量的測定」(共同発表), 第18回医療情報学会連合大会（兵庫県神戸市）, 1998年11月19日－21日
13. 「在宅介護の支援情報の体系化と活用方法」(共同発表), 第18回医療情報学会連合大会（兵庫県神戸市）, 1998年11月19日－21日
14. シンポジウム, 「保健・医療・福祉連携支援情報システムの構築とその評価」, 第18回医療情報学会連合大会（兵庫県神戸市）, 1998年11月19日－21日
15. 「医療ソーシャルワーカーにおけるコーディネート機能の明確化と妥当性の検証（Ⅱ）」(共同発表), 第19回日本医療社会事業学会（石川県金沢市）, 1999年5月22日
16. 「医療ソーシャルワーカーにおけるコーディネート機能の明確化と妥当性の検証（Ⅰ）」(共同発表), 第19回日本医療社会事業学会（石川県金沢市）, 1999年5月22日
17. 「保健・医療・福祉の相互連携におけるコーディネート機能整備のシステム要件」, 第19回日本医療社会事業学会（石川県金沢市）, 1999年5月22日
18. “What brought Japan's health care expenditure down? : Economic impact of policy changes on national health care expenditure” (共同発表), 第2回国際医療経済学会（オランダ・ロッテルダム）, 1999年6月8日
19. シンポジウム, 「高齢者社会における地域福祉のシステム化－公的介護保険の導入と新しいコミュニティ」, 第46回東北社会学会大会（宮城県仙台市）, 1999年7月23日

20. “A community-based study of brain atrophy and dementia ;Tajiri Project, Abstracts for 9th Congress of the International Psychogeriatric” (共同発表), 第9回国際老年精神医学会 (バンクーバー), 1999年8月
21. 「地方自治体における保健・医療・福祉事業の現状分析と評価方法」(共同発表), 第22回日本計画行政学会 (東京都), 1999年9月18日
22. ワークショップ, 「公的介護保険の計画行政と民間活力の導入－高齢社会の新コミュニティ構想と計画行政－」, 第22回日本計画行政学会 (東京都), 1999年9月18日
23. シンポジウム, 「医療の標準化－医療コストの標準化－」, 第10回大阪病院学会 (大阪府大阪市), 1999年10月3日
24. 「在宅介護における要介護者と介護者の健康度と QOL の相関分析」(共同発表), 第37回日本病院管理学会 (千葉県浦安市), 1999年10月14日－15日
25. 「高齢者カルテによる在宅介護・医療支援情報の体系化の方法と検証」(共同発表), 第37回日本病院管理学会 (千葉県浦安市), 1999年10月14日－15日
26. 「保険薬局利用者の満足度とかかりつけ薬局を決定する要因分析」(共同発表), 第37回日本病院管理学会 (千葉県浦安市), 1999年10月14日－15日
27. 「地域保健・医療・福祉情報システムにおけるリテラシーの評価」(共同発表), 第37回日本病院管理学会 (千葉県浦安市), 1999年10月14日－15日
28. 「診療報酬改定の病院経営に及ぼす影響度分析」(共同発表), 第37回日本病院管理学会 (千葉県浦安市), 1999年10月14日－15日
29. 「診療報酬改定が病院意思決定に及ぼす影響に関する分析」(共同発表), 第37回日本病院管理学会 (千葉県浦安市), 1999年10月14日－15日
30. 「病院特性別の経営実態分析」(共同発表), 第37回日本病院管理学会 (千葉県浦安市), 1999年10月14日－15日
31. 「介護保険における, RAP・CAP 及びサービスマニュアル利用効果の検討」(共同発表), 第37回日本病院管理学会 (千葉県浦安市), 1999年10月14日－15日
32. 「介護保険導入時の家族特性・意識とサービス需要間の相関分析」(共同発表), 第37回日本病院管理学会 (千葉県浦安市), 1999年10月14日－15日

33. 「医療ソーシャルワーカーの行ったコーディネートに対する患者、家族、MSW 自身、院内外ケース関係者による満足度評価分析」(共同発表), 第37回日本病院管理学会 (千葉県浦安市), 1999年10月14日 - 15日
34. 「医療ソーシャルワーカーのコーディネート機能明確化と妥当性に関する調査研究」(共同発表), 第37回日本病院管理学会 (千葉県浦安市), 1999年10月14日 - 15日
35. 「高齢社会での新コミュニティ化における医療福祉制度・政策の導入効果」, 第37回日本病院管理学会 (千葉県浦安市), 1999年10月14日 - 15日
36. シンポジウム, 「介護保険情報システムの開発と活用方法」, 第13回日本エム・イー学会秋季大会 (大阪府), 1999年10月29日
37. 「在宅高齢者の健康情報収集システムの開発と試用に関する研究 (第2報)」(共同発表), 第19回医療情報学連合大会 (神奈川県横浜市), 1999年11月25日 - 27日
38. 「電子カルテ導入に関する問題点の要因分析」(共同発表), 第19回医療情報学連合大会 (神奈川県横浜市), 1999年11月25日 - 27日
39. 「公的介護保険におけるケアプランの評価モニタリングの体系化と支援情報システム」, 第19回医療情報学連合大会 (神奈川県横浜市), 1999年11月25日 - 27日

<p>*2000-2001 (平成12 - 平成13) 年</p>

40. 「MSW が行なったコーディネートに対する当事者およびケース関係者の満足度評価分析」(共同発表), 第20回日本医療社会事業学会 (千葉県幕張市), 2000年5月19日 - 21日
41. 「介護量 (ADL) と活用社会資源関連分析」(共同発表), 第20回日本医療社会事業学会 (千葉県幕張市), 2000年5月19日 - 21日
42. 「コーディネートの困難度に基づく「コーディネート・レベル」の概念構築にむけて」(共同発表), 第20回日本医療社会事業学会 (千葉県幕張市), 2000年5月19日 - 21日
43. 「コーディネートの困難度指標化の検討」(共同発表), 第20回日本医療社会事業学会 (千葉県幕張市), 2000年5月19日 - 21日

44. 「MSW・PSW コーディネート機能データベースの役割と共同利用」, 第20回日本医療社会事業学会 (千葉県幕張市), 2000年5月19日-21日
45. 「介護保険制度におけるモニタリングについて (その1)~モニタリング理論と福祉情報システム化について」, 日本地域福祉学会第14回大会 (岩手県滝沢村), 2000年6月10日-11日
46. 「介護保険制度におけるモニタリングについて (その2)~ケアマネジメントにおけるモニタリング理論の体系化」(共同発表), 日本地域福祉学会第14回大会 (岩手県滝沢村), 2000年6月10日-11日
47. 「介護保険制度におけるモニタリングについて (その3)~試案シートの利用に関する妥当性の検証と今後の課題」(共同発表), 日本地域福祉学会第14回大会 (岩手県滝沢村), 2000年6月10日-11日
48. 「介護保険制度におけるモニタリングについて (その4)~介護保険モニタリング情報システムの開発」(共同発表), 日本地域福祉学会第14回大会 (岩手県滝沢村), 2000年6月10日-11日
49. 「介護保険制度におけるモニタリングについて (その5)~介護保険制度におけるモニタリング理論の今後の課題」(共同発表), 日本地域福祉学会第14回大会 (岩手県滝沢村), 2000年6月10日-11日
50. 「介護保険におけるケアマネジメント基盤整備について」(共同発表), 日本地域福祉学会第14回大会 (岩手県滝沢村), 2000年6月10日-11日
51. 「テレビ番組を利用した介護保険制度に対する理解度分析」(共同発表), 日本地域福祉学会第14回大会 (岩手県滝沢村), 2000年6月10日-11日
52. 「介護保険におけるサービス利用者・提供者の理解度および意識に関する分析」(共同発表), 日本地域福祉学会第14回大会 (岩手県滝沢村), 2000年6月10日-11日
53. 「平成12年度診療報酬改定における200床区分の妥当性に関する分析」, 第50回日本病院学会 (秋田県秋田市), 2000年6月15日-16日
54. 「平成12年度診療報酬改定における機能分化と連携の評価に関する分析」, 第50回日本病院学会 (秋田県秋田市), 2000年6月15日-16日
55. 「平成12年度診療報酬改定における急性期, 慢性期区分の妥当性に関する分析」, 第50回日本病院学会 (秋田県秋田市), 2000年6月15日-16日

56. 「平成12年度診療報酬改定における入院基本料の妥当性に関する分析」, 第50回日本病院学会 (秋田県秋田市), 2000年6月15日 - 16日
57. 「病院特性別診療報酬改定の影響度」, 第50回日本病院学会 (秋田県秋田市), 2000年6月15日 - 16日
58. フォーラム (基調講演), 「平成12年度診療報酬改定影響度・経営実態の現状と今後の展開」, 第50回日本病院学会 (秋田県秋田市), 2000年6月15日 - 16日
59. 「介護保険制度における行政・市民・医療・福祉の具体的連携の実践によるコミュニティ福祉の変革」(共同発表), 日本計画行政学会第23回全国大会 (広島県広島市), 2000年9月22日 - 24日
60. 「介護保険制度におけるTV放送を活用した制度の周知に関する研究」(共同発表), 日本計画行政学会第23回全国大会 (広島県広島市), 2000年9月22日 - 24日
61. 「介護支援専門員フォローアップ研修モデルと、期待される行政の役割」(共同発表), 日本計画行政学会第23回全国大会 (広島県広島市), 2000年9月22日 - 24日
62. ワークショップ「コミュニティ福祉の必要性と理論的背景」, 日本計画行政学会第23回全国大会 (広島県広島市), 2000年9月22日 - 24日
63. 「クリニカルパスの効果に関する研究」(共同発表), 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日
64. 「クリニカルパスの現状分析 - 医療の標準化とヴァリエーションに関する研究」(共同発表), 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日
65. 「クリニカル・パスにおける看護ケアの標準化の現状分析」(共同発表), 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日
66. 「病院特性別の経営実態分析」(共同発表), 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日
67. 「介護保険制度の「ニーズ」と「需要」のギャップ分析」(共同発表), 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日

68. 「介護保険ケアマネジメント支援モニタリング情報システムの開発」(共同発表), 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日
69. 「医療保険制度改正が老人1人当診療費に与える影響度分析」(共同発表), 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日
70. 「平成12年度診療報酬改定が急性期, 慢性期医療に及ぼした影響度分析」(共同発表), 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日
71. 「保険薬局における面分業と点分業の医療機関との連携に関する相違」(共同発表), 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日
72. 「介護保険におけるサービス評価システムの構築及び評価」(共同発表), 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日
73. 「介護保険制度におけるモニタリングシート設計の検証」(共同発表), 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日
74. 「介護保険制度におけるモニタリングシステムとモニタリングシートの設計」(共同発表), 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日
75. 「MSW業務における介護必要量と活用社会資源関連分析」(共同発表), 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日
76. 「コーディネート機能の困難度測定に関する考察」(共同発表), 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日
77. 「医療ソーシャルワーカーがコーディネートの際に感じる困難度の指標化」(共同発表), 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日
78. 「入院基本料類型による平成12年度診療報酬改定影響度分析」(共同発表), 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日
79. 「診療報酬改定の影響を測定する分布関数分析方法論と影響度指標」, 第38回日本病院管理学会学術総会 (広島県広島市), 2000年11月1日 - 2日

80. 「介護支援専門員の質の標準化にむけた基礎的分析」(共同発表), 日本健康科学学会第16回学術大会 (東京都千代田区), 2000年11月3日 - 4日
81. 「インターネット上の介護・福祉情報流通に関する意識調査」(共同発表), 第20回医療情報学連合大会 (第1回日本医療情報学会学術大会)(静岡県浜松市), 2000年11月23日 - 25日
82. 「クリティカルパス成果管理基準とシートの開発」(共同発表), 第20回医療情報学連合大会 (第1回日本医療情報学会学術大会)(静岡県浜松市), 2000年11月23日 - 25日
83. 「クリニカルパスの効果と医療の標準化に関する研究」(共同発表), 第20回医療情報学連合大会 (第1回日本医療情報学会学術大会)(静岡県浜松市), 2000年11月23日 - 25日
84. 「診療録管理体制に関する現状分析」(共同発表), 第20回医療情報学連合大会 (第1回日本医療情報学会学術大会)(静岡県浜松市), 2000年11月23日 - 25日
85. 「TV メディアを利用した介護保険制度の理解度変化および介護保険制度利用意向に及ぼす影響に関する研究 (2) - 制度理解と利用意向への影響度分析」(共同発表), 第20回医療情報学連合大会 (第1回日本医療情報学会学術大会)(静岡県浜松市), 2000年11月23日 - 25日
86. 「TV メディアを利用した介護保険制度の理解度変化および介護保険制度利用意向に及ぼす影響に関する研究 (1) - 放送前後における制度理解度変化の分析」(共同発表), 第20回医療情報学連合大会 (第1回日本医療情報学会学術大会)(静岡県浜松市), 2000年11月23日 - 25日
87. 「市民参加による保健・医療・福祉情報システム構築の可能性に関する研究」(共同発表), 第20回医療情報学連合大会 (第1回日本医療情報学会学術大会)(静岡県浜松市), 2000年11月23日 - 25日
88. 「介護保険モニタリング情報流通におけるセキュリティ管理」(共同発表), 第20回医療情報学連合大会 (第1回日本医療情報学会学術大会)(静岡県浜松市), 2000年11月23日 - 25日
89. 「ケアマネジメントモニタリングシートの評価項目及びシートの設計と検証」(共同発表), 第20回医療情報学連合大会 (第1回日本医療情報学会学術大会)(静岡県浜松市), 2000年11月23日 - 25日

90. 「ケアマネジメントを情報拠点としたモニタリングシステムの設計」(共同発表), 第20回医療情報学連合大会 (第1回日本医療情報学会学術大会)(静岡県浜松市), 2000年11月23日-25日
91. 「モニタリング情報システムの設計と開発」(共同発表), 第20回医療情報学連合大会 (第1回日本医療情報学会学術大会)(静岡県浜松市), 2000年11月23日-25日
92. 「介護保険制度におけるモニタリングシステムの概念と開発の方法論」, 第20回医療情報学連合大会 (第1回日本医療情報学会学術大会)(静岡県浜松市), 2000年11月23日-25日
93. 「保健・医療・福祉情報システム構築のための情報収集に関する行動分析」(共同発表), 日本社会福祉学会第48回全国大会 (東京), 2000年
94. シンポジウム, 「情報提示と看護の自律-情報開示の本質と開示の方法-」, 第4回北日本看護学会学術集会 (仙台市), 2000年
95. パネルディスカッション, 「コミュニティ福祉の創造をめざして~介護保険と計画行政~」, 日本計画行政学会東北支部第16回研究大会, 2000年
96. 「コミュニティ福祉のシステム設計と期待される介護保険の運用効果・効率」, 日本計画行政学会東北支部第16回研究大会, 2000年
97. 「健康長寿社会の形成と支援技術への期待」(共同発表), 第14回東北文化国際フォーラム (仙台市), 2001年3月
98. 「病者の不安感と医療社会状況との関連分析」(共同発表), 第21回日本医療社会事業学会 (福島県郡山市), 2001年5月25日-26日
99. 「患者の不安度と医療ソーシャルワーカーのコーディネートとの関連分析」(共同発表), 第21回日本医療社会事業学会 (福島県郡山市), 2001年5月25日-26日
100. 「Mプロジェクト・コーディネートデータベース (MCDB) の設計と構築」(共同発表), 第21回日本医療社会事業学会 (福島県郡山市), 2001年5月25日-26日
101. 「患者紹介率と診療人口規模の相関分析」(共同発表), 第3回医療マネジメント学会 (横浜), 2001年

102. 「クリティカル・パス効果と医療の標準化に関する分析」(共同発表), 第3回医療マネジメント学会(横浜), 2001年
103. 「クリティカル・パス成果管理基準の開発と検証」(共同発表), 第3回医療マネジメント学会(横浜), 2001年
104. 「クリティカル・パス成果管理基準Ⅰ・Ⅱ」(共同発表), 第5回北日本看護学会学術集会(岩手), 2001年
105. 「介護保険モニタリング支援情報システムの要件と基本設計」(共同発表), 日本地域福祉学会第15回大会(宮崎県延岡市), 2001年6月9日-10日
106. 「ケアマネジメントにおけるモニタリングの手法」(共同発表), 日本地域福祉学会第15回大会(宮崎県延岡市), 2001年6月9日-10日
107. 「ケアマネジメントにおけるモニタリングプロセス評価の評価項目について」(共同発表), 日本地域福祉学会第15回大会(宮崎県延岡市), 2001年6月9日-10日
108. 「ケアマネジメントにおけるモニタリング評価について」(共同発表), 日本地域福祉学会第15回大会(宮崎県延岡市), 2001年6月9日-10日
109. 「介護保険における訪問系サービスの業務分析」(共同発表), 日本地域福祉学会第15回大会(宮崎県延岡市), 2001年6月9日-10日
110. 「介護保険訪問系サービスの動線コストモデル分析」(共同発表), 日本地域福祉学会第15回大会(宮崎県延岡市), 2001年6月9日-10日
111. 「高齢者の頭部MRI画像分析: 田尻プロジェクト(2)」(共同発表), 第16回日本老年精神医学会(大阪), 2001年6月
112. 「地域在住高齢者における痴呆の有病率と原因疾患: 田尻プロジェクト報告(1)」(共同発表), 第16回日本老年精神医学会(大阪), 2001年6月
113. 「政策施策のモニタリング評価」(共同発表), 日本計画行政学会第24回全国大会(北海道札幌市), 2001年9月22日-23日
114. 「高度情報化に関する住民意識向上の分析」(共同発表), 日本計画行政学会第24回全国大会(北海道札幌市), 2001年9月22日-23日
115. 「介護保険制度導入による高齢者関係支出の変化について」(共同発表), 日本計画行政学会第24回全国大会(北海道札幌市), 2001年9月22日-23日

116. 「地方自治体における介護保険制度財政の現状について」(共同発表), 日本計画行政学会第24回全国大会 (北海道札幌市), 2001年9月22日-23日
117. 「宮城県の医療体制に関する県民の満足度分析」(共同発表), 日本計画行政学会第24回全国大会 (北海道札幌市), 2001年9月22日-23日
118. 「政策評価のモニタリング評価」(共同発表), 日本計画行政学会第24回全国大会 (北海道札幌市), 2001年9月22日-23日
119. 「宮城県における行政評価の概念と評価の方法論」(共同発表), 日本計画行政学会第24回全国大会 (北海道札幌市), 2001年9月22日-23日
120. 「政策評価の手法に関する考察」(共同発表), 日本計画行政学会第24回全国大会 (北海道札幌市), 2001年9月22日-23日
121. 「宮城県における政策評価と執行評価の設計と活用法」(共同発表), 日本計画行政学会第24回全国大会 (北海道札幌市), 2001年9月22日-23日
122. 「政策評価指標のモニタリング測定と活用法に関する研究」(共同発表), 日本計画行政学会第24回全国大会 (北海道札幌市), 2001年9月22日-23日
123. 「問題構造解析を適用した住民満足度評価」(共同発表), 日本計画行政学会第24回全国大会 (北海道札幌市), 2001年9月22日-23日
124. 「分布関数分析による政策評価－アナログスケールを用いた県民満足度の測定と分布関数分析の有用性」(共同発表), 日本計画行政学会第24回全国大会 (北海道札幌市), 2001年9月22日-23日
125. 「医療政策・施策の評価－宮城県民政策評価データベースによる分析」(共同発表), 日本計画行政学会第24回全国大会 (北海道札幌市), 2001年9月22日-23日
126. 「県民満足度による福祉政策評価分析」(共同発表), 日本計画行政学会第24回全国大会 (北海道札幌市), 2001年9月22日-23日
127. 「子育て支援政策・施策の評価」(共同発表), 日本計画行政学会第24回全国大会 (北海道札幌市), 2001年9月22日-23日
128. 「システムコーディネート機能の地域政策評価への適用－住民満足度調査データベースの設計・構築」(共同発表), 日本計画行政学会第24回全国大会 (北海道札幌市), 2001年9月22日-23日

129. ワークショップ, 「介護保険運用評価」, 日本計画行政学会第24回全国大会 (北海道札幌市), 2001年9月22日-23日
130. "White matter lesions had a strong relation with cognitive impairment and dementia in older adults: the Tajiri Project (2)" (共同発表), 第10回国際老年精神医学会 (ニース), 2001年9月
131. "The prevalence of vascular dementia is not so high in Japan as previously considered: the Tajiri Project (1)" (共同発表), 第10回国際老年精神医学会 (ニース), 2001年9月
132. "Corpus callosum atrophy is associated with frontal executive dysfunction in normal aging and Alzheimer's disease: the Tajiri Project (4)" (共同発表), 第10回国際老年精神医学会 (ニース), 2001年9月
133. "What affects selection of family pharmacies and patient satisfaction in pharmacies" (共同発表), International Health Economics Association Third International Conference (York), 2001.7.22-25
134. "Cost-effectiveness and cost-benefit analyses of anti-psychotic drugs in the treatment of wandering behavior of AD: Nakada-BPSD project (2)", (共同発表), 第8回国際アルツハイマー病学会議 (ストックホルム), 2001年9月
135. "Therapeutic psychosocial intervention for mild cognitive impairment subjects in a community: Tajiri-MCI Project (6)", (共同発表), 第8回国際アルツハイマー病学会議 (ストックホルム), 2001年9月
136. "Complex figure copying task is a good discriminator between normal aging and mild cognitive impairment in a community: Tajiri-MCI Project (5)", (共同発表), 第8回国際アルツハイマー病学会議 (ストックホルム), 2001年9月
137. "Different patterns of Kanji and Kana dysgraphia in normal aging, mild cognitive impairment, and Alzheimer's disease: Tajiri-MCI Project (4)", (共同発表), 第8回国際アルツハイマー病学会議 (ストックホルム), 2001年9月
138. "Right thalamic/cortical infarction or white matter lesion as a possible vascular contributor to frontal executive dysfunction in mild cognitive impairment: Tajiri-MCI Project (3)", (共同発表), 第8回国際アルツハイマー病学会議 (ストックホルム), 2001年9月

139. “Neurobiological basis of mild cognitive impairment as shown by MRI and PET: Tajiri-MCI Project (2)”, (共同発表), 第8回国際アルツハイマー病学会議(ストックホルム), 2001年9月
140. “Prevalence and cognitive performance of mild cognitive impairment in Japan: Tajiri-MCI Project (1)”, (共同発表), 第8回国際アルツハイマー病学会議(ストックホルム), 2001年9月
141. 「病院の医薬品採用に関する実証分析」(共同発表), 第39回日本病院管理学会学術総会(東京都大田区), 2001年10月31日-11月1日
142. 「クリティカルパスの効果に関する分析」(共同発表), 第39回日本病院管理学会学術総会(東京都大田区), 2001年10月31日-11月1日
143. 「診療報酬改定の影響の分析及び検証」(共同発表), 第39回日本病院管理学会学術総会(東京都大田区), 2001年10月31日-11月1日
144. 「インターネットを用いた安全な介護支援コミュニケーションツールの開発」(共同発表), 第39回日本病院管理学会学術総会(東京都大田区), 2001年10月31日-11月1日
145. 「看護の質の検討」(共同発表), 第39回日本病院管理学会学術総会(東京都大田区), 2001年10月31日-11月1日
146. 「クリティカル・パス成果測定指標によるアウトカム評価」(共同発表), 第39回日本病院管理学会学術総会(東京都大田区), 2001年10月31日-11月1日
147. 「介護保険における介護者の意識と実態に関する研究」(共同発表), 第39回日本病院管理学会学術総会(東京都大田区), 2001年10月31日-11月1日
148. 「介護保険ケアマネジメントにおけるモニタリング評価」(共同発表), 第39回日本病院管理学会学術総会(東京都大田区), 2001年10月31日-11月1日
149. 「介護保険訪問系サービスの構成要素時間分析」(共同発表), 第39回日本病院管理学会学術総会(東京都大田区), 2001年10月31日-11月1日
150. 「介護保険訪問系サービスの業務時間の分析」(共同発表), 第39回日本病院管理学会学術総会(東京都大田区), 2001年10月31日-11月1日
151. 「介護保険における訪問系サービス動線コストに関する分析」(共同発表), 第39回日本病院管理学会学術総会(東京都大田区), 2001年10月31日-11月1日

152. 「リスクマネジメント・モニタリング情報システムの設計と期待される効果」(共同発表), 第39回日本病院管理学会学術総会(東京都大田区), 2001年10月31日－11月1日
153. 「ブラジル日系老人ホーム「憩いの園」入所者の特徴」(共同発表), 第39回日本病院管理学会学術総会(東京都大田区), 2001年10月31日－11月1日
154. 「リスクマネジメント・モニタリング情報システムの設計と期待される効果」, 第39回日本病院管理学会学術総会(東京都大田区), 2001年10月31日－11月1日
155. 「ケアマネジメントにおけるプロセス評価のためのモニタリングシート及びその手法」(共同発表), 第21回医療情報学連合大会(第2回日本医療情報学会学術大会)(東京), 2001年11月
156. 「介護保険モニタリング評価の検討」(共同発表), 第21回医療情報学連合大会(第2回日本医療情報学会学術大会)(東京), 2001年11月
157. 「ケアマネジメントにおけるモニタリング評価について」(共同発表), 第21回医療情報学連合大会(第2回日本医療情報学会学術大会)(東京), 2001年11月
158. 「医薬品の取扱い及び医薬品に関するリスクマネジメントの現状分析とその対策」(共同発表), 第21回医療情報学連合大会(第2回日本医療情報学会学術大会)(東京), 2001年11月
159. 「介護保険事業計画におけるサービス利用予測件数と実利用件数の比較分析」(共同発表), 日本社会福祉学会第49回全国大会(沖縄), 2001年
160. 「介護保険事業計画における予定施設介護給付額と実給付額の比較分析」(共同発表), 日本社会福祉学会第49回全国大会(沖縄), 2001年
161. 「介護保険事業計画における予定介護給付額と実給付額の比較分析」(共同発表), 日本社会福祉学会第49回全国大会(沖縄), 2001年
162. 「介護保険制度の現状と課題」, 日本計画行政学会東北支部第15回研修会(青森), 2001年パネルディスカッション
163. 「介護保険制度をよりよくするために－計画行政と民間活力－」, 日本計画行政学会東北支部第15回研修会(青森), 2001年

164. シンポジウム, 「介護保険の1年間をふり返る～運営評価と今後の展望～」(共同発表), 日本計画行政学会東北支部第17回研究大会 (仙台市), 2001年
165. 「クリティカル・パス成果測定指標によるクライアントのアウトカム評価」(共同発表), 医療マネジメント学会第1回東北地方会 (仙台市), 2001年

*2002-2003 (平成14-平成15) 年

166. 「MSW・PSW のアセスメント機能に関する研究」(共同発表), 第50回日本医療社会事業全国大会・第22回日本医療社会事業学会 (北海道虻田町), 2002年5月
167. 「クリティカル・パス (CP) におけるコーディネート機能の効果」, 第50回日本医療社会事業全国大会・第22回日本医療社会事業学会 (北海道虻田町), 2002年5月
168. 「地域在住高齢者における「痴呆疑い」群 (CDR0.5) の神経心理学的特徴: 田尻プロジェクト (1)」(共同発表), 第17回日本老年精神医学会 (金沢), 2002年6月
169. Impact on increasing pharmaceutical expense about what medical doctors choose Kasuya, M, Sekita Y, 第4回国際医療経済学会, サンフランシスコ, 2002年7月
170. 「地域在住高齢者における「痴呆疑い」群 (CDR0.5) の血管障害と認知機能の分析: 田尻プロジェクト (2)」(共同発表), 日本計画行政学会第25回全国大会 (つくば市), 2002年9月
171. 「行政運営への住民参加の手段として県民満足度調査の意義」(共同発表), 日本計画行政学会第25回全国大会 (つくば市), 2002年9月
172. 「高度情報化に関する住民意識構造の分析-地域住民における情報化への規範意識とその影響性について-」(共同発表), 日本計画行政学会第25回全国大会 (つくば市), 2002年9月
173. 「市町村の行政評価-アウトカム指標の検討-」(共同発表), 日本計画行政学会第25回全国大会 (つくば市), 2002年9月
174. 「政策・施策評価におけるコミュニケーション調査の評価-政策施策評価におけるシステムコーディネート機能の適用-」(共同発表), 日本計画行政学会第25回全国大会 (つくば市), 2002年9月

175. 「地方自治体の介護保険運営評価と効果的効率的な事業計画の方法」, 日本計画行政学会第25回全国大会 (つくば市), 2002年 9 月
176. 「病院における医療事故防止のためのシステム設計と検証」(共同発表), 第40回日本病院管理学会学術総会 (北九州), 2002年11月
177. 「平成14年度診療報酬改定における手術料見直しの妥当性に関する分析」(共同発表), 第40回日本病院管理学会学術総会 (北九州), 2002年11月
178. 「薬物による痴呆の問題行動の治療: 臨床的効果と臨床経済的効果」(共同発表), 第40回日本病院管理学会学術総会 (北九州), 2002年11月
179. 「平成14年度診療報酬改定と急性期医療に関する実証分析」(共同発表), 第40回日本病院管理学会学術総会 (北九州), 2002年11月
180. 「看護の質に関する実証分析」(共同発表), 第40回日本病院管理学会学術総会 (北九州), 2002年11月
181. 「平成14年度診療報酬改定の影響分析」, 第40回日本病院管理学会学術総会 (北九州), 2002年11月
182. 「2 次医療圏における保健医療福祉の連携システム構築の方法論と評価に関する研究ー保健医療福祉連携システムに関する実態調査ー」, 第22回医療情報学連合大会「第3 回日本医療情報学会学術大会」(福岡), 2002年11月
183. 「CPS-20による医療施設のクリティカル・パスのアウトカム評価」(共同発表), 第4 回医療マネジメント学会学術総会 (京都), 2002年
184. 「社会福祉協議会における事業評価の手法に関する研究」(共同発表), 日本地域福祉学会第16回全国大会 (東京), 2002年
185. 「社会福祉協議会における事業評価の手法に関する研究」(共同発表), 日本地域福祉学会第16回全国大会 (東京), 2002年
186. 「社会福祉協議会における事業評価と地域福祉活動計画への活用」(共同発表), 日本社会福祉学会第50回全国大会 (日本社会事業大学), 2002年
187. シンポジウム, 「どうする 安心して住める地域づくりー住民の政策形成への参加と権利擁護のあり方ー」, 第79回東北開発・第18回日本計画行政学会東北支部セミナー(仙台市), 2002年

188. シンポジウム, 「介護保険の問題点と今後の対応」, 東北開発研究公開フォーラム2002 (仙台市), 2002年
189. 「看護の安全管理に関する重要性和達成度の比較分析」
二瓶洋子, 関田康慶, 他 4 名, 第41回日本病院管理学会, 東京, 2003年10月 (病院管理, Vol.40, suppl. 147, 2003)
190. 「看護ケアの質に関する患者及び看護師の視点からの検討」
伊藤尚子, 関田康慶, 他 3 名, 第41回日本病院管理学会, 東京, 2003年10月 (病院管理, Vol.40, suppl. 221, 2003)

* 2004-2005 (平成16 - 平成17) 年

191. 「医療経営の評価指標についての考察」
渡辺正見, 関田康慶, 第 6 回医療マネジメント学会, 高松市, 2004年 6 月
192. 「病院機能の選択と診療報酬改定の評価 (基調講演)」
関田康慶, 第54回日本病院学会, 横浜市, 2004年 7 月
193. 「平成16年診療報酬改定の影響度評価と病院意思決定分析 (基調講演)」
関田康慶, 第54回日本病院学会, 横浜市, 2004年 7 月
194. 「医療機能ユニットを導入した場合の医療の質の安定性と医療経営に及ぼす影響分析」
関田康慶, 伊藤敦, 阿部真菜美, 第42回日本病院管理学会, 熊本県, 2004年 10月
195. 「急性期医療機能を選択した医療機関の実態に関する研究」
李忻, 関田康慶, 他 6 名, 第42回日本病院管理学会, 熊本県, 2004年10月
196. 「保健・医療・福祉の連携推進システム構築の方法論と評価手法の開発に関する研究」
信川益明, 関田康慶, 他, 第42回日本病院管理学会, 熊本市, 2004年10月
197. 「クリニカルパスを適用した医療サービスの質の評価 - 外来科学療法クリティカルパスによる試み」
上西智子, 関田康慶, 第42回日本病院管理学会, 熊本市, 2004年10月 (病院管理, Vol.41, suppl. 249, 2004)
198. 「医療・福祉機能のユニット化と統合化の評価方法の開発」
伊藤敦, 関田康慶, 他 3 名, 第42回日本病院管理学会, 熊本市, 2004年10月

199. 「リスクマネージャーの体制がリスクマネジメント活動に及ぼす影響に関する研究」
二瓶洋子, 関田康慶, 他 4 名, 第42回日本病院管理学会, 熊本市, 2004年10月 (病院管理, Vol.41, suppl. 273, 2004)
200. 「医療機能ユニットを導入した場合の医療の質の安定性と医療経営に及ぼす影響分析」
関田康慶, 伊藤敦, 第42回日本病院管理学会, 熊本市, 2004年10月 (病院管理, Vol.41, suppl. 98, 2004)
201. 「看護提供方式と看護師の満足度との関連」
猪股千代子, 関田康慶, 他 5 名, 第42回日本病院管理学会, 熊本市, 2004年10月 (病院管理, Vol.40, suppl. 226, 2004)
202. 「介護保険制度の見直しについて－保健・医療・福祉連携の視点から (基調講演)」
関田康慶, 第 4 回福祉経営研究会全国大会, 遠野市, 2004年11月
203. 「病院情報システムと経営効率に関する研究」
糟谷昌志, 関田康慶, 他 8 名, 第24回医療情報学会, 2004年11月
204. 「介護保険制度の見直しをみ直す, 社会政策学会, 第 2 回保健医療福祉シンポジウム」
関田康慶, 東京, 2004年12月
205. 「インターネットを用いた地域健康管理支援システムの構築に関する研究」
稲田紘, 西村治彦, 堀尾裕幸, 東ますみ, 水野 (松本) 由子, 狩野晋一郎, 片山文善, 関田康慶, 医療情報学, 24 (Suppl.), 492-493, 2004
206. 「インターネットによる地域健康管理支援システムの構築」
稲田紘, 狩野晋一郎, 片山文善, 関田康慶, 総合健診, 32 (1), 2005
207. 「政策・施策・行政評価システムの構築 (招待講演)」
関田康慶, 長野県議会地方自治政策課題研究会, 2005年 5 月
208. 「病院併設の介護関連施設における現状分析」
糟谷昌志, 関田康慶, 第19回日本地域福祉学会, 札幌, 2005年, 6 月 5 日
209. 「医療事故要因分析における専門的知識の活用と事故推移との関連」
二瓶洋子, 関田康慶, 元原利武, 第 7 回医療マネジメント学会, 福岡, 2005年, 6 月24日

210. Empirical analyses of household income and well-being for family caregivers
Kasuya, M, Sekita Y, 5th world congress of health economics, Barcelona, スペイン, 2005年 8月11日
211. Large Dataset of Hospital Discharges using the Proportional Distribution Method (PDM)
Okamoto E, Sekita Y, 5th world congress of health economics, Barcelona, スペイン, 2005年 8月11日
212. 「紹介・連携部門の充実が平均在院日数等に与える影響」
阿部真菜美, 関田康慶, 第43回日本病院管理学会, 東京, 2005年10月27日
213. 「医療事故防止対策の実施状況および事故防止対策の達成度を推進させる要因お検討」
二瓶洋子, 関田康慶, 元原利武, 東京, 2005年10月27日
214. 「電子カルテ導入実態における公的病院と私的病院の相違」
槽谷昌志, 関田康慶, 第25回医療情報学連合大会・第6回医療情報学会, 横浜, 2005年11月25日

*2006-2007（平成18－平成19）年

215. 「新介護保険制度の論点と市町村・介護保健事業者の計画と戦略を探る（基調講演）」
関田康慶, 日本計画行政学会東北支部学術フォーラム, 秋田市, 2006年 3月
216. 「日本の介護保険導入以後－福祉経営の変化と対応（招待講演）」
関田康慶, デジュン, ウソン大学, 韓国, 2006年, 4月29日
217. 「健康産業発展の意義と今後の展開」
関田康慶, 日本計画行政学会東北支部第22会学術大会学術フォーラム, 仙台市, 2006年 6月15日
218. 「リスクマネジメント体制の違いによる医療安全活動の課題に関する比較検討」
二瓶洋子, 関田康慶, 元原利武, 第8回日本医療マネジメント学会, 横浜市, 2006年 6月16日
219. 「外来癌化学療法クリティカルパスシステムにおける評価インディケーター作成の方法に関する研究」
上西智子, 関田康慶, 第8回日本医療マネジメント学会学術総会, 横浜市, 2006年 6月17日

220. 「医療機能ユニット統合システムの導入が病院経営とサービスの信頼性に与える影響」
伊藤敦, 関田康慶, 二瓶洋子, 第8回医療マネジメント学会学術総会, 横浜市, 2006年6月16日 (医療マネジメント学会雑誌, 第7巻第1号, p229)
221. 「平成18年度診療報酬改定の影響度分析 (基調講演)」
関田康慶, 日本病院会病院長幹部職セミナー, 大阪市, 2006年8月4日
222. 「住民参加型コミュニケーション調査データベースを用いた医療福祉政策の評価」
加藤由美, 関田康慶, 日本計画行政学会第29回全国大会, 大阪市, 2006年9月15日
223. 「療養病床のない急性期一般病院における紹介・連携部門への医療ソーシャルワーカー (MSW) の配置と平均在院日数, 病床利用率の関連分析」
阿部真菜美, 関田康慶, 第44回日本病院管理学会, 名古屋市, 2006年10月 (病院管理, vol.43, Suppl. 101, 2006)
224. 「病院の地域連携業務の現状と課題」
阿部真菜美, 関田康慶, 第44回日本病院管理学会, 名古屋市, 2006年10月
225. 「医療安全管理体制の整備状況と事故推移との関連性についての実証分析」
二瓶洋子, 伊藤敦, 関田康慶, 元原利武, 第22回日本健康科学学会, 仙台市, 2006年10月27日 (Health Sciences. Vol.22. No.4 : 573, 2006)
226. 「病院紹介・連携部門における MSW 機能の平均在院日数・病床利用率への影響分析」
阿部真菜美, 関田康慶, 第22回日本健康科学学会, 仙台市, 2006年10月27日 (Health Sciences. Vol.22. No.4 : 484, 2006)
227. 「地域連携と病床利用の関連分析」
阿部真菜美, 関田康慶, 第22回日本健康科学学会, 仙台市, 2006年10月28日 (Health Sciences. Vol.22. No.4 : 563, 2006)
228. 「外来癌化学療法クリティカルパスシステムの評価方法に関する研究」
上西智子, 関田康慶, 第22回日本健康科学学会, 仙台市, 2006年10月27日 (Health Sciences. Vol.22. No.4 : 568, 2006)
229. 「認知症への医療連携が介護老人保健施設入所に及ぼす影響について」
赤沼恭子, 目黒謙一, 関田康慶, 他3名, 第22回日本健康科学学会, 仙台市, 2006年10月27日 (Health Sciences. Vol.22. No.4 : 549, 2006)

230. 「双方向評価システムの必要性」
黄克蘭, 関田康慶, 第22回日本健康科学学会, 仙台市, 2006年10月27日
(Health Sciences. Vol.22. No.4 : 544, 2006)
231. 「韓国の老人長期療養保険制度の導入における論議と争点」
韓昌完, 関田康慶, 他 2 名, 第22回日本健康科学学会, 仙台市, 2006年10月27日 (Health Sciences. Vol.22. No.4 : 545, 2006)
232. 「訪問介護事業所の経営指標の開発」
渡辺正見, 関田康慶, 第22回日本健康科学学会, 仙台市, 2006年10月27日
(Health Sciences. Vol.22. No.4 : 546, 2006)
233. 「従来型介護老人福祉施設における介護支援専門員を主体としての介護サービス評価システムの開発」
工藤厚史, 関田康慶, 他 4 名, 第22回日本健康科学学会, 仙台市, 2006年10月27日 (Health Sciences. Vol.22. No.4 : 547, 2006)
234. 「認知症対応型共同生活介護における介護保険法改正の影響と検討課題」
高田純子, 関田康慶, 第22回日本健康科学学会, 仙台市, 2006年10月27日
(Health Sciences. Vol.22. No.4 : 551, 2006)
235. 「訪問看護利用者による満足度評価に関する研究」
斎藤明子, 関田康慶, 第22回日本健康科学学会, 仙台市, 2006年10月27日
(Health Sciences. Vol.22. No.4 : 560, 2006)
236. 「地域保健福祉事業の事業評価手法に関する研究」
日下輝美, 増子正, 関田康慶, 第22回日本健康科学学会, 仙台市, 2006年10月27日 (Health Sciences. Vol.22. No.4 : 561, 2006)
237. 「医療・ヘルスケア・健康サービス産業市場の現状分析と将来市場に関する研究」
青木博, 関田康慶, 第22回日本健康科学学会, 仙台市, 2006年10月27日
(Health Sciences. Vol.22. No.4 : 584, 2006)
238. 「医療・福祉・居宅機能ユニット統合システムと居宅レベルの相違が与える利用者効果分析」
伊藤敦, 関田康慶, 第22回日本健康科学学会, 仙台市, 2006年10月27日
(Health Sciences. Vol.22. No.4 : 585, 2006)

239. 「健康マネジメントの方法論・システムの開発と健康産業発展に向けて（学術大会長講演）」
 関田康慶，第22回日本健康科学学会，仙台市，2006年10月27日（Health Sciences, Vol.22, No.4：385－387，2006）
240. 「電子カルテ導入の満足度に影響を与える要因に関する研究」
 糟谷昌志，関田康慶，他6名，第26回医療情報学連合大会 第7回医療情報学会，札幌，2006年11月2日
241. 「地域医療連携におけるコーディネート機能（招待講演）」
 関田康慶・阿部真菜美，山形大学医学研究科医療政策セミナー，2006年11月15日
242. 「電子カルテ導入の意思決定分析」
 糟谷昌志，阿部真菜美，関田康慶，第9回日本医療マネジメント学会，東京，2007年，6月16日
243. An empirical study on old aged caregivers household income, health condition and life satisfaction in Japan.
 Kasuya, M, Sekita Y, コペンハーゲン，デンマーク，2007年7月10日
244. Validation of proportional distribution method (PDM) for estimating disease-specific costs from health insurance claims with multiple diagnoses: an empirical approach
 Okamoto E, Sekita Y, 6h world congress of health economics, コペンハーゲン，デンマーク，2007年7月11日
245. 「機能ユニット統合システム指数と利用者評価指数を用いたドイツ，北欧諸国の統合センターに関する現状分析」
 伊藤敦，関田康慶，日本福祉のまちづくり学会第9回全国大会，広島県市，論文概要集，217－220，2007年8月27日
246. 「住民参加による地方政府行政評価システムの設計と事前評価」
 関田康慶，阿部真菜美，第30回に本計画行政学会，福岡，2007年9月16日
247. 「東北における福祉制度対象者に関する市町村別実態調について～東北の市町村社会福祉統計資料作成の試み～」
 都築光一，関田康慶，他4名，第55回日本社会福祉学会，大阪，2007年9月22日
248. 「臨床試験システムにおける経済表かモデルに関する研究」
 上西智子，関田康慶，第45回日本病院管理学会，横浜，2007年10月25日

249. 「病院経営収支，経営力に影響する特性・要因分析」
阿部真菜美，関田康慶，横浜，2007年10月25日
250. 「病院機能分化・集積と経営収支の関連エントロピー分析」
関田康慶，阿部真菜美，第45回日本病院管理学会，横浜，2007年10月25日
251. 「事故防止活動の活動水準と医療安全体制の機能的稼働状況との関連性」
二瓶洋子，関田康慶，第45回日本病院管理学会，横浜，2007年10月25日
252. 「医療専門職従事予定学生健康感と健康産業についての認識に関する調査研究」
青木博，関田康慶，第23回日本健康科学学会，東京，2007年11月10日
253. 「全国市町村における保健医療福祉政策分野の行政評価と住民参加の現状分析」
阿部真菜美，関田康慶，第23回日本健康科学学会，東京，2007年11月11日
254. 「認知症対応型共同生活化以後における実態調査分析」
高田純子，関田康慶，第23回日本健康科学学会，東京，2007年11月11日

*2008-2009（平成20－平成21）年

255. 「わが国の医療機能ユニット統合センターの特徴と運用実態」
伊藤敦，関田康慶，二瓶洋子，日本医療マネジメント学会第8回東京地方学術大会，東京，2008年2月16日
256. Development of Monitoring Information System for the Elderly Care System in Japan: Evaluation System for Elderly Care Services and Regional Elderly Care System.
Yasuyoshi Sekita, Masahiro Ishigaki et.al, HYVITE Symposium in Sendai 2008
(2008年5月24日)
257. 「コーディネート機能の介入が医療機能ユニットの運用に及ぼす影響」
伊藤敦，関田康慶，二瓶洋子，第10回日本医療マネジメント学会，2008年6月20日
258. 「介護機能ユニット統合システムに関する一考察」
柿沼倫弘，関田康慶，第11回日本福祉のまちづくり学会全国大会，新潟市，2008年9月1日

259. 「ノルウェーにおけるデイサービスセンターの機能特性と運用環境」
伊藤敦，関田康慶，第11回日本福祉のまちづくり学会全国大会，新潟市，
2008年9月1日
260. 「IT を活用した医療・保健・健康領域における先進的サービスの可能性につ
いての調査研究」
青木博・関田康慶，第24回日本健康科学学会全国大会，東京，2008年9月27
日
261. 「全国市町村の保健医療政策行政評価指標の分析」
阿部真菜美，関田康慶，第24回日本健康科学学会全国大会，東京，2008年9
月27日
262. 「経済性評価を考慮した介護保険モニタリング情報システム開発方法に関す
る考察」
関田康慶，石垣政裕，高田純子，工藤厚史，柿沼倫弘，阿部真菜美，佐藤
美喜子，都築光一，第28回医療情報学連合大会2008年11月24日
263. 「医療施設の経営分析を支援する Web 調査分析システムの開発」
阿部真菜美，関田康慶，第28回医療情報学連合大会，2008年11月24日
264. 「遠隔健康管理システムの動向とシステムおよび社会経済的視点からの比較
分析」
佐藤美喜子，関田康慶，第28回医療情報学連合大会，2008年11月24日
265. 「緊急災害・ネットワーク障害時にも利用可能なメッセージボードシステム
の開発」
石垣政裕，リヒターアクセル，佐々木健治，関田康慶，他，第28回医療情報
学連合大会，2008年11月24日
266. 「ケアマネジメントにおける介護評価とモニタリングシステム（韓国語，日
本語）」
関田康慶，第2回韓国ケアマネジメント学会（招待講演），2009年3月27日
267. 「Web ページ公開状況から見たわが国の医療モールの連携実態に関する全国
調査」
伊藤敦，二瓶洋子，関田康慶，第11回日本医療マネジメント学会学術総会，
長崎，2009年6月13日
268. 「医療接遇・コミュニケーションが安全向上に及ぼす影響に関する研究」
佐藤美智子，二瓶洋子，関田康慶，第11回日本医療マネジメント学会学術総
会，長崎，2009年6月13日

269. 「地域住民の認知症に対する取り組みと小規模多機能福祉施設との協働事業に関する一考察」
柿沼倫弘, 高田純子, 関田康慶, 第8回日本ケアマネジメント学会, 横浜, 2009年6月20日
270. 「介護の質と介護サービスの質～その評価について～」
内田幸雄, 関田康慶, 第8回日本ケアマネジメント学会, 横浜, 2009年6月20日
271. 「指定介護老人福祉施設における介護保険双方向モニタリング評価システムの設計」
工藤厚史, 高田純子, 関田康慶, 第8回日本ケアマネジメント学会, 横浜, 2009年6月20日
272. Accuracy of estimation of disease-specific costs in national health care expenditure : An example of renal failure and dialysis.
Etsuji Okamoto, Yasuyoshi Sekita, IHEA (2009) 北京, 2009年7月15日
273. 「医療型統合センターにおける利用者行動分析－利用者は医療型統合センターを受診する際にどの点を評価しているのか－」
伊藤敦, 関田康慶, 第12回日本福祉のまちづくり学会全国大会, 帯広, 2009年8月23日
274. 「生活習慣病予防のための健康管理支援情報システムの開発」
佐藤美喜子, 関田康慶, 吉田勝美, 須賀万智, 第25回日本健康科学学会学術大会, 東京, 2009年8月29日
275. 「生活習慣病予防のための健康管理支援情報システムの設計」
関田康慶, 佐藤美喜子, 吉田勝美, 須賀万智, 第25回日本健康科学学会学術大会, 東京, 2009年8月29日
276. 「医療型統合センターにおける運営の仕組みと効果面と問題面」
伊藤敦, 関田康慶, 第8回日本医療経営学会, 仙台, 2009年10月31日
277. 「看護師のインシデントレポートの活用状況と安全情報の共有化に関連する要因の検討」
二瓶洋子, 佐藤美智子, 関田康慶, 第4回医療の質・安全学会, 東京2009年11月21-22日

278. 「介護の質，介護サービスの質を反映した介護モニタリングシステムの開発に関する考察」

関田康慶，工藤厚史，高田純子，石垣政裕，佐々木健治，内田幸雄，柿沼倫弘，佐藤美喜子，グレンマンスフィールド，第29回医療情報学連合大会，広島，2009年11月22日

*2010-2011（平成22－平成23）年

279. 「東北・北海道地方の介護保険施設のリスクマネジメントの現状分析」

柿沼倫弘，関田康慶，新・福祉経営研究会，2010年7月30日，東北大学経済学部

280. 「韓国の老人長期療養保険サービスの実態とニーズに関する研究」

韓昌完，丁海龍，関田康慶，日本ケアマネジメント学会，第9回研究大会，立教大学，埼玉，2010年8月29日

281. 「診療所機能ユニットにおけるグループ診療化が医療の質と経営状況に与える影響」

伊藤敦，関田康慶，寺崎仁，大道久，辻典明，田城孝雄，日本医療・病院管理学会第48会学術総会，広島，2010年10月15日，（日本医療・病院管理学会誌，Vol.47，Suppl.，p.152）

282. 「米国における病院外部評価の変化とわが国の病院機能評価への示唆」

大野博，関田康慶，日本医療・病院管理学会第48会学術総会，広島市国際会議場，2010年10月15日，（日本医療・病院管理学会誌，Vol.47，Suppl.，p.152）

283. 「分析機能内蔵型 WEB 調査システムの設計と検証」

佐藤美喜子，関田康慶，柿沼倫弘，阿部真菜美，渡辺正見，第30回医療情報学連合大会（第11回日本医療情報学会学術大会）浜松，2010.11（11月19日）

284. 「介護支援専門員による介護モニタリングシステムの評価実験」

石垣正弘，関田康慶，佐々木健治，柿沼倫弘，佐藤美喜子，内田幸雄，工藤厚史，高田純子，第30回医療情報学連合大会（第11回日本医療情報学会学術大会）浜松，2010.11（11月19日）

285. 「医療安全情報管理の現状分析」

関田康慶，柿沼倫弘，佐藤美喜子，二瓶洋子，上西智子，渡辺正見，北野達也，第30回医療情報学連合大会（第11回日本医療情報学会学術大会）浜松，2010.11（11月19日）

286. 「中規模医療機関における医療安全管理体制の取り組みと今後の課題について」
二瓶洋子, 柿沼倫弘, 上西智子, 関田康慶, 第5回医療の質・安全学会, 幕張, 2010年11月27日
287. 「統合医療のパラダイム, パネルディスカッション「今後の統合医療の進め方」」
関田康慶, 日本統合医療学会東北支部大会, 仙台, 2011年2月26日
288. 「病院医療安全管理水準のモニタリング方法(教育講演)」
関田康慶, 日本医療マネジメント学会, 東京, 2011年10月29日
289. 「介護保険制度の仕組みと持続可能性について－効果と効率の視点」
関田康慶, 学都仙台コンソーシアム・市民公開講座, 仙台, 2011年11月12日

外部研究費・調査報告書関係(平成7年度以降)

- 平成7年3月:『病院管理及び地域医療・福祉における専門職の養成とその教育体系に関する研究』報告書 総合研究(A)(平成5年～6年度;分担者) 文部省
- 平成8年3月:『病院機能類型に対する診療報酬体系の在り方とその評価方法に関する研究』報告書 一般研究(C)(平成6年～7年度;代表者) 文部省
- 平成10年10月:『平成10年度診療報酬改定の影響度・経営実態調査報告書』(分析支援・報告書編集) 社団法人日本病院会
- 平成10年度:『都道府県・政令市における保健・医療・福祉の事業評価に関する実態調査』報告書 研究室
- 平成11年3月:『臓器移植における医療経済的問題に関する研究』報告書 基盤研究(B)(平成9年～10年度;分担者) 文部省
- 平成11年3月:『脳卒中・痴呆・寝たきり予防のための有病率調査事業』報告書 老人保健強化推進特別事業(平成10年度;分担者) 厚生省
- 平成12年3月:『保健サービスの向上をめざした地域保健・医療・福祉支援情報システムに関する研究』報告書 老人保健強化推進特別事業(平成11年度;分担者) 厚生省

- 平成12年 3 月：『かかりつけ医機能の整備に向けた医師の開業形態に関する研究』報告書（平成10年～12年度；分担者） 厚生省
- 平成12年度：『診療報酬改定の影響度・経営実態調査報告書』（分析支援・報告書編集） 社団法人日本病院会
- 平成13年 3 月：『保健サービスの向上をめざした地域保健・医療・福祉支援情報システムに関する研究』報告書（平成11年～12年；分担者） 厚生労働省
- 平成13年 3 月：『グループ診療、介護の総合化による経済効果に関する研究』総合研究報告書（厚生科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業 平成11年度～12年度；主任研究者） 厚生労働省
- 平成13年 3 月：『保健医療福祉連携支援のコーディネート機能のあり方と情報化に関する研究』報告書 厚生科学研究費補助金（政策科学推進研究事業 平成10～12年度；主任研究者） 厚生労働省
- 平成13年 3 月：『市町村介護保険計画の現状分析とサービス供給システムの設計に関する研究』報告書 基盤研究（C）（平成10年度～12年度；代表者） 文部科学省
- 平成13年度：『薬価引き下げの影響に関する調査報告書』研究室
- 平成13年度：『県民満足度調査分析報告書』（編集） 宮城県
- 平成13年度：『在宅サービスに関する研究報告書』 研究室
- 平成14年 2 月：『介護保険事業関係自治体アンケート調査報告書』，日本計画行政学会東北支部・介護保険研究部会代表者）平成13年度
- 平成14年 3 月：『かかりつけ医機能の整備に向けた医師の開業形態に関する研究』報告書
基盤研究（B）（平成11年度～13年度；分担者） 文部科学省
- 平成14年 3 月：『グループ診療、介護の総合化による経済効果に関する研究』総合研究報告書 厚生科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業 12年～13年度；主任研究者） 厚生労働省
- 平成14年 3 月：『市町村における介護保険モニタリング情報システムの設計と活用に関する研究』報告書 厚生科学研究費補助金（政策科学推進研究事業 平成12年～13年度；主任研究者） 厚生労働省

- 平成14年度：『県民満足度調査分析報告書』（編集） 宮城県
- 平成14年度：『診療報酬改定影響度・経営実態調査報告書』（分析支援・報告書編集） 社団法人日本病院会
- 平成14年度：『高齢社会における医療費の動向に関する研究』監修 財団法人 財政経済協会
- 平成14年度：『介護保険動線調査コスト分析研究報告書』 研究室
- 平成14年度：『介護保険広域市町村連携広域連合の効果に関する調査研究報告書』 研究室
- 平成14年3月：『市町村における介護保険モニタリング情報システムの設計と活用に関する研究報告書』、厚生科学研究費補助金（政策科学推進研究事業 平成12～13年度；主任研究者） 厚生労働省
- 平成15年3月：『高齢社会に対応した福祉・経済社会システムの設計と評価』報告書 基盤研究（B）（平成12年度～14年度；分担者） 文部科学省
- 平成15年12月：『医薬分業に関する調査報告書』 研究室
- 平成15年度：『平成14年診療報酬改定の経営への影響度実態調査、平成15年医療保険制度改革の影響度調査報告書』（分析支援・報告書編集） 社団法人日本病院会
- 平成16年2月：『リスクマネジメントシステムに関する調査報告書』、（社団法人日本病院会と共同調査）
- 平成16年度：『診療報酬改定調査分析報告書』（分析支援・報告書編集） 社団法人日本病院会
- 平成17年3月：『IT（医療技術）の応用による地域の保健サービスの円滑化と職域保健サービス及び医療福祉との連携向上に関する研究報告書』、厚生労働省科研費（健康科学総合研究事業；平成14～16年度，分担者） 厚生労働省
- 平成17年3月：『高齢社会の医療・福祉・居宅機能のユニット化・統合化の効果と効率に関する研究報告書』 基盤研究（B）（平成14年～16年度；代表者） 文部科学省
- 平成17年度：『訪問介護事業者対象調査』報告書（東北6県対象） 研究室

- 平成18年度：『健康産業振興促進のための方法論の開発と振興促進モデルの設計』
経済学研究科プロジェクト経費
- 平成18年度：『東北6県対象認知症グループホームの実態調査』 研究室
- 平成18年度：『健康産業関連企業対象のアンケート調査』 研究室
- 平成18年3月：『DPCについてのアンケート調査報告書』(分析支援・報告書編集) 社団法人日本病院会
- 平成19年度：『健康産業データベース構築方法の開発と利用システムの設計・開発研究報告書』 経済学研究科プロジェクト経費
- 平成20年3月：『住民参加による保健医療福祉政策評価方法の開発と実証分析』,
科学研究総括・分担報告書(政策評価推進研究事業：平成17～19年度, 主任研究者) 厚生労働省
- 平成20年3月：『老人保健施設の実態調査報告書』(東北6県対象)(政策評価推進研究事業：平成17～19年度, 主任研究者) 厚生労働省
- 平成20年3月：『認知症グループホームの経営実態に関する調査報告書』, 厚生科学研究費(政策評価推進研究事業：平成17～19年度, 主任研究者) 厚生労働省
- 平成20年11月～12月：『介護保険制度における介護サービス事業所の連携・統合に関する調査報告書』 研究室
- 平成20年3月：『ウエルネス・アプリケーション・システム開発編 平成19年度成果報告書』 知的クラスター創成事業(平成9年～23年度 分担グループ責任者) 文部科学省
- 平成20年12月：『介護老人福祉施設におけるモニタリングに関する調査報告書』 研究室
- 平成21年1月：『介護の質と介護サービスの質に関する調査報告書』(宮城県国保連合会との共同調査, 調査分析担当) 宮城県国民健康保険団体連合会
- 平成21年3月：『ウエルネス・モニタリング&モデリング 平成20年度成果報告書』, 知的クラスター創成事業(平成9年～23年度 分担グループ責任者) 文部科学省
- 平成21年3月：『医薬開発統括学術分野創生と人材育成拠点』最終報告書,
COE(平成16年度～20年度, 分担者) 文部科学省

- 平成22年 1 月：『統計分析機能を内蔵した WEB 調査システムの開発』 知的クラスター創生事業（平成 9 年～23年度 分担グループ責任者） 文部科学省
- 平成22年 3 月：『急性期病院対象の医療安全管理体制に関する WEB 実態調査』 知的クラスター創成事業（平成 9 年～23年度 分担グループ責任者） 文部科学省
- 平成22年 5 月：『全国の精神科病院対象の ACT に関する WEB 調査』 研究室
- 平成22年 6 月：『北海道・東北地域の介護老人福祉施設，介護老人保健施設対象の介護のリスクマネジメントの実態に関する WEB 調査』 知的クラスター創成事業（分担グループ責任者） 文部科学省
- 平成22年10月：『東北地方の228市町村を対象の市民の健康づくり WEB 実態調査』 経済学研究科プロジェクト経費（代表者）
- 平成22年 9－10月：『市民の健康づくりに関する市民調査』 経済学研究科プロジェクト経費（代表者）
- 平成22年10月：『障害者自立支援法に基づく障害者の社会復帰支援事業者の事業経営に関する WEB 実態調査調査』 経済学研究科プロジェクト経費（代表者）
- 平成23年 3 月：『地域見守り創出調査研究事業報告書』（分担研究，平成22年度） 経済産業省
- 平成23年 8 月：『高齢者住宅の資源運用に関する実態調査』 経済学研究科プロジェクト経費（代表者）
- 平成23年10月：『訪問介護における動線コストの影響に関する実態調査』 経済学研究科プロジェクト経費（代表者）
- 平成23年12月：『介護保険外サービス利用に関する実態調査』 経済学研究科プロジェクト経費（代表者）
- 平成23年～25年度：『病院の医療安全管理手法の開発と安全管理支援情報システムの開発に関する研究』 基盤研究（B）（代表者） 文部科学省